

位置図

令和5年度 交通安全対策補助事業 市道三郷1661号線 道路改良工事



1:2,500

0 45 90 180 m

特 記 事 項

工事名：令和5年度 交通安全対策補助事業 市道三郷 1661 号線道路改良工事
箇所名：安曇野市 三郷温

本工の施工にあたっては指定された図書を参考にし、『安曇野市土木工事共通仕様書』（安曇野市ホームページを参照）の内容に従うとともに、以下の事項について施工条件とする。

1 工事内容

工事概要：金抜き設計書のとおり。

2 工期関係

工期は、契約日から 159 日間とする。

なお、休日等には日曜日・祝日・夏期休暇及び年末年始休暇の他、作業期間内の全土曜日を含んでいる。ただし、80%の出来形の提出については、令和6年2月5日（月）までを期限とする。

以降の受付と精査は認めない。

3 工程関係

本工に際し、適切な工程を計画すること。

また、周辺住民、地域関係者に対しては通知・連絡等を必ず実施し、周知すること。

4 残土・廃棄物関係

(1) 本工の施工において生じる産業廃棄物及び発生土の処分については、下記の処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。

(2) 建設発生土

受入場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項
松本マテリアル(株)	指定	6.3 km	

(3) 特定建設資材廃棄物（建設リサイクル法）

参考

種 別		処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等					
アスファルト塊		再利用	処理工場名	清水口建設(株)		距離	5.1	km
			数 量	116 ㊦ ・ m ³				
コンクリート塊	無筋 Co	再利用	処理工場名			距離		km
			数 量	t ・ m ³				
	鉄筋 Co	再利用	処理工場名	清水口建設(株)		距離	5.1	km
			数 量	114 ㊦ ・ m ³				
	二次 製品	再利用	処理工場名			距離		km
			数 量	t ・ m ³				
建設発生木材			処理工場名			距離		km
			数 量	t ・ m ³				

(4) 産業廃棄物（建設廃棄物処理指針）

種 別	処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等	
木くず (抜根・伐採材)	再利用	処理工場名	距離 km
		数 量	t ・ m ³
汚 泥		処理工場名	距離 km
		数 量	t ・ m ³
その他（金属クズ他）		処理工場名	距離 km
		数 量	t ・ m ³

建設工事請負契約書において、処分費・運搬費が上記（3）、（4）に明示した金額より低額の場合は、設計変更の対象とする。

(5) 建設副産物の運搬・処理について

ア 建設副産物の運搬を廃棄物処理業者に委託する場合には、必ず書面による委託契約を締結すること。

イ 運搬及び処分を業とする許可証を添付すること。

ウ 下請業者が建設副産物を運搬・処分を行う場合、下請契約とは別に運搬・処分に係る委託契約を締結すること。

エ マニフェストにより適切に運搬・処理されているか確認を行うとともに、マニフェスト伝票（A、B2、D、E表）の写しをしゅん工書類に添付すること。（写しの添付については、初回、中間、最終を基本とする。少量の場合には、監督員と事前打ち合わせ願います。）

併せて、再資源化施設、最終処分場との関係を示す写真をしゅん工書類に添付すること。

オ 受注者が施工計画書に記載若しくは整備すべき事項

・記載事項

※該当するものを選択する

処理方法※	1 再資源化	2 破碎処理	3 焼却処理	4 埋立処分場	5 その他
処 分 先 (業 者)	業 者 名 住 所		許可番号		
運 搬 委 託 先 (委託の場合)	業 者 名 住 所		許可番号		
そ の 他	資源化の方法など				

・添付書類

ア 処理先の許可書の写し及び（収集運搬を委託する場合）収集運搬業者の許可書の写し

イ 受注者と処理又は運搬業者との契約書の写し

ウ 処理業者の所在地及び計画運搬ルート

5 その他

(1) 関係機関・自治体等との近接協議

関係機関等	事 項	制約内容	時 期
安曇野市 学校教育課	小中学校の通学路 確認	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
小中学校	関係小中学校の通 学路に係る周知。 各種行事調整。	上記と同様	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
安曇野市 文化課	埋蔵文化財	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。

安曇野市 認定こども園	バス運行、通園路 などの確認。各種 行事調整。	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
地元区長など	工事内容、工事期 間、迂回路などの 説明及び調整。	区長、隣組長など指導のもと	上記と同様
地元市議会議員	工事内容、工事期 間、迂回路などの 説明。		契約後即対応のこと。
工事沿線住民	工事内容、工事期 間、迂回路などの 説明及び調整。	関係者等の指導のもと。(ただし、 要求内容が無理難題と判断され る場合には、断ることも必要であ る。また、要求内容については監 督員へ報告すること。特に工事金 額に係る内容は協議を交わすこ と。)	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
工事区間内農地 所有者又は管理 者及び工事影響 範囲の利害関係 者など	農地については、 工事の進捗及び営 農上支障になるこ との調整。その他 利害関係者との調 整。	上記と同様	上記と同様
周辺店舗、事業所 など	駐車場、案内看板 などの調整。	関係者等の指導のもと。(ただし、 要求内容が無理難題と判断され る場合には、断ることも必要であ る。また、要求内容については監 督員へ報告すること。特に工事金 額に係る内容は協議を交わすこ と。)	上記と同様
ＮＴＴ	電柱、架空線等の 移設調整。また、 本工事への影響確 認。	関係機関指導のもと	上記と同様
中部電力	電柱、架空線等の 移設調整。また、 本工事への影響確 認。	関係機関指導のもと	上記と同様
あづみ野テレビ	架空線等の移設調 整。また、本工事 への影響確認。	関係機関指導のもと	上記と同様
穂高自動車 教習所	教習コースの確認	関係機関指導のもと	上記と同様
関係官公庁	本工事に係ること	関係機関指導のもと	上記と同様
その他	状況に応じて対応 すること。	上記と同様	苦情については、即対 応のこと。要望につい ては、監督員と協議の うえ対応すること。

(2) 個別事項

- 一 工事着手日の2週間前には、現場周辺の住民、区長、町会長、沿線地権者、耕作者へ工事通知文を提出すること。また、必要があれば関係機関への周知、協議行うこと。通知文は協議書で提出し決裁が済んでから周知を行うこと。
- 二 本工事の交通規制について原則として市道三郷 1661 号線（交差点南北方向）及び県道小倉梓橋停車場線（交差点東西方向）を片側交互通行で施工すること。作業時は誘導員を配置するとともに、誘導員の安全管理についても留意すること。また、通行車両、歩行者に細心の注意を払い施工にあたること。
- 三 本工事は品質管理試験として、路盤入替えに係る現場 CBR 試験及び擁壁設置に係る平板載荷試験を計上している。試験場所については、別途監督員が指示する場所で行うこと。なお、平板載荷試験の許容支持力は別紙のとおりとする。
- 四 付帯施工の多目的信号柱において、信号機の設置については安曇野警察署の発注工事となる。双相の工事に支障がないよう、安曇野警察署より指定された松本電気工業㈱と契約すること。
松本電気工業㈱ 住所：松本市大字神林 7107-66 TEL：0263-47-6585
- 五 本工では、現場環境改善に係る経費を当初設計にて計上しています。
 - (一) 実施する内容については、別紙－3の中から原則として各計上費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1内容ずつ（いずれか1費目のみ2内容）、合計5つの内容を選択すること。
選択にあたっては、地域の状況や工事内容等により、実施費目数及び実施内容を変更してもよい。
 - (二) (一) で選択した実施内容について、実際に現場で実施する内容を『現場環境改善費事例集（長野県建設部）』を参考に記載する。
 - (三) この経費は率計上されているため、実施する内容が巨額となり、率計上分では行うことが適当ではないと判断される場合は、積上げ計上とします。
積上げ計上分については、事前に監督員と協議すること。
 - (四) この経費の設計変更については、実費精算等の設計変更は行いません。ただし、対象金額の変動に伴う現場環境改善費率の変更は行います。
なお、当初設計で計上されていた場合も、受発注者協議により、内容の実施が不要と判断された場合などについては、費用の全額を減額するものとします。
- 六 既存杭の保全及び復元においては、請負者の責務において行うこと。
また、復元においては、公共測量に係る作業規定の準則に基づき、精度管理を行うこと。
なお、当該作業に要する費用においては、共通仮設費（準備費）に含まれる。
- 七 創意工夫については、監督員と協議し、実施内容を事前に報告すること。
- 八 品質検査の場所は、別途監督員が指示する場所で行うこと。
- 九 本工は、工事成績評定の対象工事です。
- 十 その他疑義がある場合には、必要書類等を添えて監督員と協議願います。

7.1.2 施工ヤードの確保

当該計画では、現況道路の拡幅である為、現況道路を通行止めにし施工ヤードを確保する。
通行止めの際しての迂回路については別項(7.3)にて記載する。

7.2 平板載荷試験

当該土留構造物等支持力の確認が必要な場合は、施工時に平板載荷試験を実施し、地耐力を確認することとする。設計計算にて、許容支持力を算出しているので、許容支持力以上の地耐力が必要となる。

平板載荷試験結果にて、地耐力が満足できない場合は、置換等の地盤改良工法を選定し支持力を確保するものとする。

形式	擁壁高 (mm)	安定条件						
		転倒			滑動			支持力
		偏心距離	$e \leq 1/6B$ (m)	判定	安全率	1.50	判定	許容地盤反力度 (kN/m ²)
一般部	1750	0.166	≤ 0.345	OK	$F_s=1.87$	≥ 1.50	OK	54.69 kN/m ² 以上必要
照明基礎部	2000	0.144	≤ 0.450	OK	$F_s=3.28$	≥ 1.50	OK	73.40 kN/m ² 以上必要

工 事 数 量 総 括 表

工事名	交通安全対策補助事業 市道三郷1661号線 道路改良工事					事業区分	
	安曇野市 三郷 明盛					工事区分	
工事区分・工種・種別	規 格		単位	当初数量	変更数量	数量増減	摘 要
道路改良工							
道路土工							
掘削工							
オープン掘削		= 532.6	m ³	530			
残土処理工							
残土運搬		= 576.1	m ³	580			
残土処分		= 691.3	m ³	690			
作業土工							
床掘	(1<W)	= 152.2	m ³	150			
埋戻	(1<W)	= 108.7	m ³	110			
プレキャストL型擁壁工							
1号プレキャストL型擁壁							
プレキャストL型擁壁	H1.250	= 1.56	m	1.56			
プレキャストL型擁壁	H1.500	= 8.81	m	8.81			
プレキャストL型擁壁	H1.750	= 4.0	m	4.00			
2号プレキャストL型擁壁							
プレキャストL型擁壁	H1.250	= 14.83	m	14.83			
プレキャストL型擁壁	H1.500	= 15.67	m	15.67			
プレキャストL型擁壁	H1.750	= 2.0	m	2.00			
プレキャストL型擁壁	H2.000	= 2.0	m	2.00			

3号プレキャストL型擁壁							
プレキャストL型擁壁	H1.250	= 13.89	m	13.89			
プレキャストL型擁壁	H2.000	= 2.00	m	2.00			
4号プレキャストL型擁壁							
プレキャストL型擁壁	H1.000	= 17.75	m	17.75			
舗装工							
舗装準備工							
不陸整正(市道部)	補足材なし	= 635.4	m ²	640			
不陸整正(県道部)	補足材あり 粒調碎石M-25 t=3cm	= 101.2	m ²	100			
路盤工(市道部)							
置換層	再生碎石RC40 t=56cm	= 639.9	m ²	640			
下層路盤	再生碎石RC40 t=12cm	= 639.9	m ²	640			
上層路盤	粒度調整碎石M25 t=10cm	= 639.9	m ²	640			
路盤工(歩道部)							
路盤	再生碎石RC40 t=10cm	= 116.1	m ²	120			
凍上抑制層	再生碎石RC40 t=15cm	= 116.1	m ²	120			
アスファルト舗装工(市道部)							
表層	再生密粒度AS13F t=5cm	= 639.9	m ²	640			
アスファルト舗装工(県道部)							

表層	再生密粒度AS20F t=5cm補足材あり	= 101.2	m ²	100			
アスファルト舗装工(歩道部)							
表層	細粒度AS13 t=3cm	= 116.1	m ²	120			
薄層カラー舗装工							
表層	樹脂モルタル 厚6mm以下	= 52.7	m ²	53			
区画線工							
中心線	ペイント式白色実線 W=15cm	= 54.9	m	55			
外側線	ペイント式白色実線 W=15cm	= 171.2	m	170			
停止線	溶融式白色実線 W=45cm	= 9.2	m	9			
横断歩道	溶融式白色実線 W=45cm	= 82.5	m	83			
ゼブラ帯	溶融式白色実線 W=45cm	= 24.3	m	24			
ゾーン30	矢印・記号・文字 溶融式 W=15cm換算	= 8.3	m	8			
ゾーン30	溶融式 グリーン	= 9.0	m ²	9			
区画線消去工							
区画線消去	削り取り	= 212.0	m	212			
排水構造物工							
作業土工							
基面整正		側溝工 集水枡工 56.5 + 6.5	= 63.0	m ²	63		
側溝工							
自由勾配側溝	300×300	= 71.4	m	71			

グレーチング蓋	T-20 L=1000mm	= 7.0	枚	7			
コンクリート蓋	T-20 L=500mm	= 58.0	枚	58			
調整コンクリート	18-8-25BB	= 0.3	m ³	0.3			
ベンチフリューム	700型	= 4.0	m	4			
ベンチフリュームボックス	700型	= 6.0	m	6			
PL鋼製柵		= 1.0	箇所	1			
取水工復旧工	Φ150	= 8.6	m	9			
取水工復旧工	Φ200	= 12.5	m	13			
集水柵工							
集水柵(1)	B600-L600-H347	= 1.0	箇所	1			
集水柵(2)	B800-L800-H607	= 1.0	箇所	1			
集水柵(3)	B800-L800-H640	= 1.0	箇所	1			
集水柵(4)	B600-L600-H304	= 1.0	箇所	1			
集水柵(5)	B900-L900-H750	= 1.0	箇所	1			
グレーチング蓋	600-600用 T-25	= 2.0	枚	2			
グレーチング蓋	800-800用 T-25	= 1.0	枚	1			
グレーチング蓋	800-800用 T-14	= 1.0	枚	1			
グレーチング蓋	900-900用 T-14	= 1.0	枚	1			

1号横断開渠工							
自由勾配側溝	横断用300×300	= 5.6	m	6			
調整コンクリート	18-8-25BB	= 0.01	m3	0.01			
グレーチング蓋	T-25 L=1000mm	= 3.0	枚	3			
2号横断開渠工							
自由勾配側溝	横断用300×300	= 8.0	m	8			
調整コンクリート	18-8-25BB	= 0.04	m3	0.04			
グレーチング蓋	T-25 L=1000mm	= 4.0	枚	4			
付属施設工							
付属施設工							
歩車道境界ブロック	基礎一体型（Aタイプ）	= 2.7	m	3			
歩車道境界ブロック	基礎一体型 乗入タイプ(Aタイプ)	= 44.4	m	44			
車止め		= 14.0	本	14			
照明設備工	多目的照明柱	= 1.0	式	1			
構造物撤去工							
構造物取壊し工							
舗装版切断(市道部)	アスファルトt=7cm	= 12.1	m	12			
舗装版破碎(市道部)	アスファルトt=7cm	= 649.7	m ²	650			
舗装版切断(県道部)	アスファルトt=5cm	= 11.6	m	12			
舗装版破碎(県道部)	アスファルトt=5cm	= 101.2	m ²	100			

重力式擁壁撤去	H=1200	= 78.7	m	79			
ベンチフリューム撤去	700型	= 14.0	m	14			
ベンチフリューム撤去	700型(蓋つき)	= 0.5	m	0.5			
構造物とりこわし	鉄筋コンクリート	= 45.6	m ³	46			
取水工撤去	Vuφ150	= 6.5	m	7			
取水工撤去	VUφ200	= 6.5	m	7			
殻運搬処理							
AS殻運搬	AS	= 50.6	m ³	51			
CO殻運搬	鉄筋	= 45.6	m ³	46			
処分	AS	= 116.4	t	116			
処分	CO	= 114.0	t	114			
任意仮設工							
交通誘導警備員							
交通誘導警備員B		= 100.0	人日	100			
技術管理費							
技術管理費							
平板載荷試験	反力用重機費用含む:10t以内	= 2.00	箇所	2			
現場CBR試験	1箇所3点	= 2.00	試験	2			

土工集計表

[illegible]

土工計算書

[illegible]

土工計算書

[illegible]

プレキャストL型擁壁工 数量集計表

[illegible]

プレキャストL型擁壁工 数量集計表

種 別	規格	単 位	数 量	摘 要
2号プレキャストL型擁壁工				
本體工	H1.250	m	14.83	
	H1.500	m	15.67	
	H1.750	m	2.00	
	H2.000	m	2.00	
基礎工				
敷モルタル	1：3配合 t=3cm	m ³	1.7	
基礎コンクリート	18-8-40BB t=10cm	m ³	6.4	
型枠	無筋構造物	m ²	6.9	
基礎材	再生碎石RC-40 t=20cm	m ²	70.8	

プレキャストL型擁壁工 数量集計表

[illegible]

プレキャストL型擁壁工 数量集計表

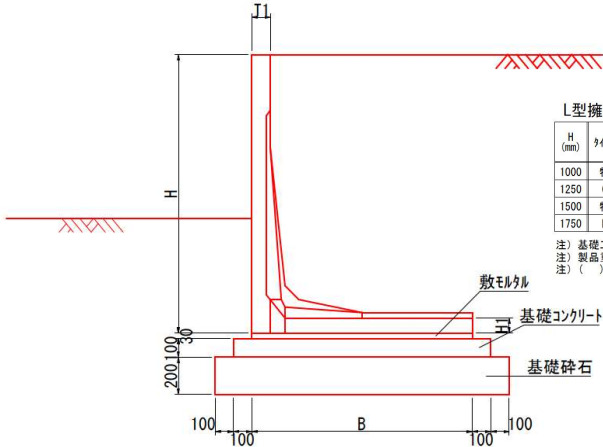
[illegible]

1号プレキャストL型擁壁工 計算書

名 称	種 別	単 位	数 量
基礎工			
敷モルタル(1 : 3)			
H1. 250	0. 45 / 10 × 1. 56 = 0. 07		
H1. 500	0. 525 / 10 × 8. 81 = 0. 46		
H1. 750	0. 525 / 10 × 4. 00 = 0. 21		
	計 0. 74	0. 74	m2
基礎コンクリート			
H1. 250	1. 7 / 10 × 1. 56 = 0. 27		
H1. 500	1. 95 / 10 × 8. 81 = 1. 72		
H1. 750	1. 95 / 10 × 4. 00 = 0. 78		
	計 2. 77	2. 77	m3
型枠			
H1. 250	2. 0 / 10 × 1. 56 = 0. 31		
H1. 500	2. 0 / 10 × 8. 81 = 1. 76		
H1. 750	2. 0 / 10 × 4. 00 = 0. 80		
	計 2. 87	2. 87	m2
基礎材			
H1. 250	19. 0 / 10 × 1. 56 = 2. 96		
H1. 500	21. 5 / 10 × 8. 81 = 18. 94		
H1. 750	21. 5 / 10 × 4. 00 = 8. 60		
	計 30. 50	30. 50	m2

2号プレキャストL型擁壁工 計算書

断面図

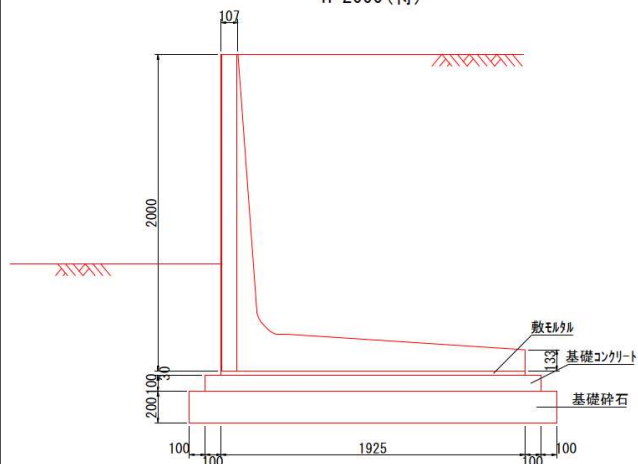


L型擁壁		数量表											
H (mm)	タイプ	B (mm)	T1 (mm)	H1 (mm)	製品重量 (kg)	基礎工数量 (延長10m当り)				使用本数(本)		備考	
						敷モルタル (m3)	コンクリート (m3)	均し層砕 き(2層)	基礎材 (m2)	標準 L=2.0m	短尺		
1000	特	1500	100	80	-	0.450	1.700	2.00	19.00	7	3	H1250C天端カット	
1250	C	1500	100	80	1137	0.450	1.700	2.00	19.00	11	6	H1750D天端カット	
1500	特	1750	120	90	-	0.525	1.950	2.00	21.50	7	8(2)	H1750D天端カット	
1750	D	1750	120	90	1722	0.525	1.950	2.00	21.50	3	-		

注) 基礎工の寸法及び数量は、いずれも参考値です。
注) 製品重量は、製品長 L=2.0m(標準品)の重量です。
注) ()内は、使用本数のうち縦壁開口品の本数を示す。

名 称	種 別	単 位	数 量
本体工	H1.250 B1.500 L1.000	本	1.0
	H1.250 B1.500 L1.834	本	1.0
	H1.250 B1.500 L2.000	本	6.0
	計 14.83 m		
	H1.500 B1.500 L0.940	本	1.0
	H1.500 B1.500 L1.000	本	2.0
	H1.500 B1.500 L1.460	本	1.0
	H1.500 B1.500 L1.566	本	1.0
	H1.500 B1.500 L1.700	本	1.0
	H1.500 B1.500 L2.000	本	4.0
	計 15.67 m		
	H1.750 B1.400 L2.000	本	1.0
	計 2.00 m		

H=2000 (特)



L型擁壁 数量表

基礎工数量(延長10m当り)				使用本数(本)	
数モル (m3)	コンクリート (m3)	均し型枠 (m2)	基礎材 (m2)	標準 L=2.0m	短尺
0.578	2.125	2.00	23.25	2	-

注) 基礎工の寸法及び数量は、いずれも参考値です。

[illegible]

2号プレキャストL型擁壁工 計算書

名 称	種 別	単 位	数 量
基礎工			
敷モルタル(1 : 3)			
H1. 250	0. 45 / 10 × 14. 83 = 0. 67		
H1. 500	0. 525 / 10 × 15. 67 = 0. 82		
H1. 750	0. 525 / 10 × 2. 00 = 0. 11		
H2. 000	0. 578 / 10 × 2. 00 = 0. 12		
	計 1. 72	1. 72	m2
基礎コンクリート			
H1. 250	1. 70 / 10 × 14. 83 = 2. 52		
H1. 500	1. 95 / 10 × 15. 67 = 3. 06		
H1. 750	1. 95 / 10 × 2. 00 = 0. 39		
H2. 000	2. 125 / 10 × 2. 00 = 0. 43		
	計 6. 40	6. 40	m2
型枠			
H1. 250	2. 00 / 10 × 14. 83 = 2. 97		
H1. 500	2. 00 / 10 × 15. 67 = 3. 13		
H1. 750	2. 00 / 10 × 2. 00 = 0. 40		
H2. 000	2. 00 / 10 × 2. 00 = 0. 40		
	計 6. 90	6. 90	m2
基礎材			
H1. 250	19. 00 / 10 × 14. 83 = 28. 18		
H1. 500	21. 50 / 10 × 15. 67 = 33. 69		
H1. 750	21. 50 / 10 × 2. 00 = 4. 30		
H2. 000	23. 25 / 10 × 2. 00 = 4. 65		
	計 70. 82	70. 82	m2

断面図

L型擁壁 数量表

H (mm)	タイプ	B (mm)	T1 (mm)	H1 (mm)	製品重量 (kg)	基礎工数量 (延長10m当り)				使用本数(本)		備考
						敷モルタル (m3)	コンクリート (m3)	均し砂 (m2)	基礎材 (m2)	標準 L=2.0m	短尺	
1000	特	1500	100	80	-	0.450	1.700	2.00	19.00	7	3	H1250C天端カット
1250	C	1500	100	80	1137	0.450	1.700	2.00	19.00	11	6	
1500	特	1750	120	90	-	0.525	1.950	2.00	21.50	7	8(2)	H1750C天端カット
1750	D	1750	120	90	1722	0.525	1.950	2.00	21.50	3	-	

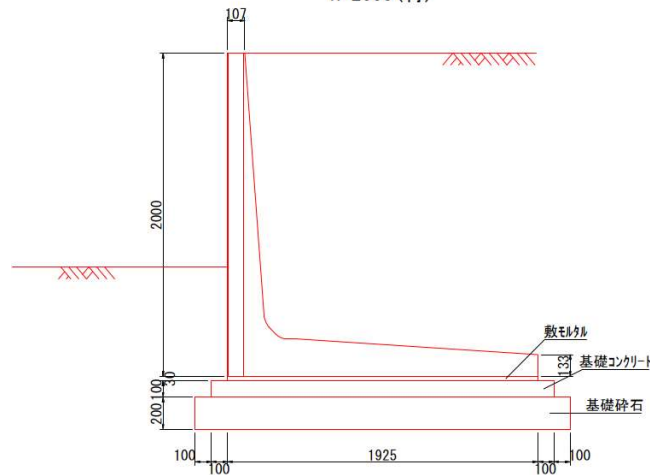
注) 基礎工の寸法及び数量は、いずれも参考値です。

注) 製品重量は、製品長 L=2.0m(標準品)の重量です。

注) () 内は、使用本数のうち縦壁開口品の本数を示す。

[illegible]

H=2000 (特)



L型擁壁 数量表

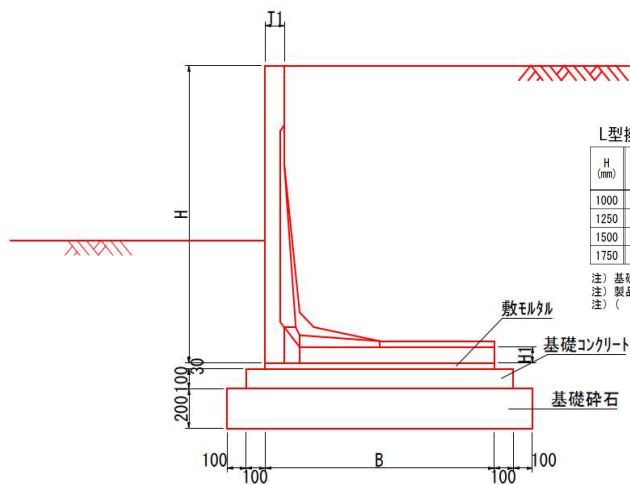
基礎工数量(延長10m当り)				使用本数(本)	
敷モル (m ³)	コンクリート (m ³)	均し型枠 (m ²)	基礎材 (m ²)	標準 L=2.0m	短尺
0.578	2.125	2.00	23.25	2	-

注) 基礎工の寸法及び数量は、いずれも参考値です。

[illegible]

4号プレキャストL型擁壁工 計算書

断面図



L型擁壁 数量表

H (mm)	W (mm)	B (mm)	T1 (mm)	H1 (mm)	製品重量 (kg)	基礎工事量(延長10m当り)				使用本数(本)		備考
						鉄骨(本)	コンクリート 均一厚床(㎡)	均一厚床 (㎡)	基礎材 (㎡)	1.5m 短尺	短尺	
1000	特	1500	100	80	-	0.450	1.700	2.00	19.00	7	3	H1250C天端カット
1250	C	1500	100	80	1137	0.450	1.700	2.00	19.00	11	6	
1500	特	1750	120	90	-	0.525	1.950	2.00	21.50	7	8 (2)	H1750C天端カット
1750	D	1750	120	90	1722	0.525	1.950	2.00	21.50	3	-	

注) 基礎工の寸法及び数量は、いずれも参考値です。
注) 製品重量は、製品長 L=2.0m(標準品)の重量です。
注) ()内は、使用本数のうち縦壁開口品の本数を示す。

[illegible]

舗装工数量集計表

種 別	規格	単 位	北側	南側	県道	数 量	摘 要
舗装工							
舗装準備工							
不陸整正	補足材無し	m ²				635.4	市道
不陸整正	補足材あり M-25 3cm	m ²				101.2	県道
路盤工(車道部)							
置換層	再生砕石RC40 t=56cm	m ²	347.96	291.97		639.9	
下層路盤	再生砕石RC40 t=12cm	m ²	347.96	291.97		639.9	
上層路盤	粒度調整砕石M25 t=10cm	m ²	347.96	291.97		639.9	
路盤工(歩道部)							
路盤	再生砕石RC40 t=10cm	m ²	81.7	34.44		116.1	
凍上抑制層	再生砕石RC40 t=15cm	m ²	81.7	34.44		116.1	
アスファルト舗装工(車道部)							
表層	再生密粒度AS13F t=5cm	m ²	347.96	291.97		639.9	市道
表層	再生密粒度AS20F t=5cm 補足材あり	m ²			101.2	101.2	県道
アスファルト舗装工(歩道部)							
表層	細粒度AS13 t=3cm	m ²	81.7	34.44		116.1	
薄層カラー舗装工							

舗装工数量集計表

[illegible]

舖裝準備工面積計算書

測点		点間距離	S1：不陸整正(補足材無)					
			幅員	平均	面積			
BP								
0 +	0.00	0.00	3.6	-	-			
BC. 1								
0 +	11.00	11.00	5.5	4.55	50.1			
SP. 1								
0 +	16.14	5.14	5.5	5.50	28.3			
EC. 1								
1 +	1.28	5.14	5.5	5.50	28.3			
2 +	0.00	18.72	7.8	6.65	124.5			
2 +	7.33	7.33	21.5	14.65	107.4			
2 +	7.33	0.00	0.0	-	-			
2 +	9.48	2.15	0.0	-	-			
2 +	11.63	2.15	0.0	-	-			
2 +	11.63	2.15	21.5		0.0			
BC. 2								
2 +	19.91	8.28	5.9	13.70	113.4			
SP. 2								
3 +	3.78	3.87	5.5	5.70	22.1			
EC. 2								
3 +	7.66	3.88	5.5	5.50	21.3			
3 +	12.30	4.64	7.0	6.25	29.0			
4 +	0.00	7.70	5.5	6.25	48.1			
EP								
4 +	12.57	12.57	4.5	5.00	62.9			
合計					635.4			

舗装工面積計算書（車道舗装）北側

[illegible]

鋪裝工面積計算書（車道鋪裝）南側

[illegible]

[illegible]

舗装工面積計算書（歩道舗装）南側

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

区画線工延長調書

NO. 1

中心線 W=15cm						外側線 W=15cm					
始 測 点		終 測 点		延 長	備 考	始 測 点		終 測 点		延 長	備 考
NO. 0	10. 0	NO. 2	0. 4	30. 64	北側	NO. 0	0. 2	NO. 2	0. 8	40. 45	左側・北側
NO. 2	17. 5	NO. 4	2. 6	24. 22	南側	NO. 0	0. 0	NO. 1	19. 4	40. 66	右側・北側
						NO. 2	3. 8	NO. 2	7. 6	3. 21	左側・北側
						NO. 2	17. 9	NO. 4	12. 0	33. 14	左側・南側
						NO. 2	0	NO. 4	12. 0	35. 40	右側・南側
						NO. 2	11. 2	NO. 2	14. 0	2. 56	右側・南側
										3. 80	左側(県道)
										4. 39	左側(県道)
										3. 44	右側(県道)
										4. 15	右側(県道)
計				54. 86	m	計				171. 20	m

区画線工延長調書

NO. 2

停止線 W=45cm					横断歩道 W=45cm				
始 測 点	終 測 点	延 長	備 考		始 測 点	終 測 点	延 長	備 考	
NO. 1	15. 4	2. 68	北側		NO. 2	2. 2	21. 00	北側	
NO. 3	2. 4	2. 67	南側		NO. 2	15. 4	21. 00	南側	
		1. 97	県道				21. 00	県道	
		1. 87	県道				19. 50	県道	
計		9. 19	m		計		82. 50	m	

区画線工延長調書

NO. 3

ゼブラ帯 W=45cm					ゾーン30				
始 測 点	終 測 点	延 長	備 考		始 測 点	終 測 点	延長（文字）m	面積（グリーン）㎡	
		24.30					8.30	9.00	
計		24.30	m		計		8.30	9.00	

路面標示施工延長換算表(参考資料)

仕様:1.5mm厚ハンドマーカー施工

項目・仕様		幅W=15cm換算延長	所要材料換算長	備 考
5m矢印	直進	6.25 m	(7.50 m)	路面標示ハンドブック
	直進右折・直進左折	8.91 m	(10.60 m)	路面標示ハンドブック
	右折・左折	6.66 m	(7.90 m)	路面標示ハンドブック
	右左折	9.65 m	(11.50 m)	路面標示ハンドブック
5m予告矢印	直進	5.25 m	(6.30 m)	
	直進右折・直進左折	7.91 m	(9.40 m)	
	右折・左折	5.66 m	(6.70 m)	
	右左折	8.65 m	(10.30 m)	
3m矢印	合流	3.75 m	(4.50 m)	
中心点	対角2m	19.97 m	(23.90 m)	路面標示ハンドブック
	対角3m	25.94 m	(31.10 m)	
	対角4m	52.89 m	(63.40 m)	路面標示ハンドブック
	対角2m×半分	11.5 m	(13.80 m)	
	対角3m×半分	15.1 m	(18.10 m)	
	対角4m×半分	31.02 m	(37.20 m)	
	2m矢印	2.5 m	(3.00 m)	路面標示ハンドブック
転回禁止		21.66 m	(25.90 m)	路面標示ハンドブック
右折禁止		16.13 m	(19.20 m)	路面標示ハンドブック
横断予告(ダイヤモンド)		16.5 m	(19.80 m)	
文字	止まれ	18.64 m	(22.30 m)	
	バス専用7:30-9	38.56 m	(46.30 m)	路面標示ハンドブック
	バス優先7:30-9	37.5 m	(45.00 m)	路面標示ハンドブック
	バス優先17-19	37.3 m	(44.70 m)	路面標示ハンドブック
	7:30-9	9.29 m	(11.20 m)	路面標示ハンドブック
	7-9	6.09 m	(7.30 m)	路面標示ハンドブック
	7:30-8:30	13.26 m	(16.00 m)	路面標示ハンドブック
	二輪専用	30.02 m	(36.10 m)	路面標示ハンドブック
	一般車両	33.91 m	(40.60 m)	
	軽	7.09 m	(8.50 m)	路面標示ハンドブック
	シルバー思いやりゾーン	30.09 m	(36.10 m)	
	20	18.49 m	(22.10 m)	路面標示ハンドブック
	30	19.34 m	(23.20 m)	路面標示ハンドブック
	40	19.8 m	(23.70 m)	路面標示ハンドブック
	50	18.57 m	(22.20 m)	路面標示ハンドブック

※ 富山県管轄は、所要材料換算長を適用

※ 所要材料換算長は、重複施工する部分を平均20%と見込み、これを施工実延長に加えた値で、材料の使用量を算出するのに用いる。

※ 換算延長の小数点第2位は、使用される官公庁により、異なることがあります。

※ 項目は、標識令第10条の様式を示す。

区画線消去工延長調書(県道部)

NO. 1

横断予告					減速マークA						
始 測 点		終 測 点		箇所数	備 考	始 測 点		終 測 点		箇所数	備 考
				4.00	西側・左側					4.00	西側・左側
				2.00	東側・右側					4.00	東側・右側
計				6.0	箇所	計				8.0	箇所

区画線消去工延長調書(県道部)

NO. 2

減速マークB					停止線				
始 測 点	終 測 点	延 長	備 考		始 測 点	終 測 点	延 長	備 考	
		29.16	西側・左側				2.15	西側	
		29.07	西側・右側						
		22.33	東側・左側						
		22.25	東側・右側						
計		102.8	m		計		2.2	m2	

側溝工数量集計表

1/1

種 別	規格	単 位	数 量	摘 要
作業土工				
基面整正		m2	56.5	
側溝工				
自由勾配側溝	300×300	m	71.4	
グレーチング蓋	T-20 L=1000mm	枚	7.0	
コンクリート蓋	T-20 L=500mm	枚	58.0	
調整コンクリート	18-8-25BB	m3	0.3	
ベンチフリューム	700型	m	4.0	
ベンチフリュームボックス	700型	m	6.0	
PL鋼製柵		箇所	1.0	
取水工復旧工	Φ150	m	8.6	
取水工復旧工	Φ200	m	12.5	

側溝工数量計算書

種別	規格・寸法	計 算 式	数 量
1号自由勾配側溝	300×300		40.5 m
本体	300×300型	$5.0 / 10\text{m} \times 40.5 = 20.25$	20 本
インバートコンクリート	18-8-25BB	$0.15 / 10\text{m} \times 40.5 = 0.61$	0.61 m ³
基礎コンクリート	18-8-25BB	$0.285 / 10\text{m} \times 40.5 = 1.15$	1.15 m ³
型枠	小型構造物	$1.00 / 10\text{m} \times 40.5 = 4.05$	4.1 m ²
基礎材	RC-40 t=10cm	$0.67 / 10\text{m} \times 40.5 = 2.71$	2.7 m ³
基面整正		$0.67 \times 40.5 = 27.14$	27.1 m ²
調整コンクリート	側溝工詳細図より 18-8-25BB	$0.038/2 \times 0.30 \times 13.57 = 0.077$	0.1 m ³
グレーチング蓋	T-25 L=1000mm	$40.5 / 10 = 4.05$	4 枚
コンクリート蓋	T-20 L=500mm	$(40.5/2-4) \times 2 = 32.50$	33 枚
2号自由勾配側溝	300×300		30.9 m
本体	300×300型	$5.0 / 10\text{m} \times 30.9 = 15.45$	16 本
インバートコンクリート	18-8-25BB	$0.15 / 10\text{m} \times 30.9 = 0.46$	0.46 m ³
基礎コンクリート	18-8-25BB	$0.285 / 10\text{m} \times 30.9 = 0.88$	0.88 m ³
型枠	小型構造物	$1.00 / 10\text{m} \times 30.9 = 3.09$	3.1 m ²
基礎材	RC-40 t=10cm	$0.67 / 10\text{m} \times 30.9 = 2.07$	2.1 m ³
基面整正		$0.67 \times 30.9 = 20.70$	20.7 m ²
調整コンクリート	側溝工詳細図より 18-8-25BB	$0.077/2 \times 0.30 \times 13.28 = 0.153$	0.2 m ³
グレーチング蓋	T-25 L=1000mm	$30.9 / 10 = 3.09$	3 枚
コンクリート蓋	T-20 L=500mm	$(30.9/2-3) \times 2 = 24.90$	25 枚

側溝工延長調書

NO. 1

自由勾配側溝 (300×300)						ベンチフリューム 700型					
始 測 点		終 測 点		延 長	備 考	始 測 点		終 測 点		延 長	備 考
NO. 0	+0. 2	NO. 2	+0. 3	40. 50	1号	NO. 0	-1. 80	NO. 0	+1. 3	2. 00	右側
NO. 3	+1. 0	NO. 4	+12. 0	30. 89	2号	NO. 1	+19. 3	NO. 2	+2. 8	2. 00	右側
	</										

側溝工延長調書

NO. 2

ベンチフリームボックス 700型											
始 測 点		終 測 点		延 長	備 考	始 測 点		終 測 点		区 間 延 長	備 考
NO. 2	14. 2	NO. 3	+0. 00	6. 00	右側						
計				6. 0	m	計					

集水枴工数量集計表

[illegible]

集水桝工数量計算書

種別	規格・寸法	計 算 式	数 量
集水桝(1)	B600-L600-H347	= 1.00	1 基
コンクリート	18-8-25BB	$(0.9 \times 0.9 \times 0.497 - 0.6 \times 0.6 \times 0.347) = 0.28$	0.28 m ³
型枠	小型構造物	$(0.9 \times 0.50 \times 4 + 0.6 \times 0.347 \times 4) = 2.63$	2.6 m ²
基礎材	RC-40 t=15cm	$(1.0 \times 1.0) = 1.00$	1.0 m ²
グレーチング蓋	600-600用 T-25	1.0 = 1.0	1 枚
基面整正		$(1.0 \times 1.0) = 1.00$	1.0 m ²
集水桝(2)	B800-L800-H607	= 1.00	1 基
コンクリート	18-8-25BB	$(1.1 \times 1.1 \times 0.757 - 0.8 \times 0.8 \times 0.607) = 0.53$	0.53 m ³
型枠	小型構造物	$(1.1 \times 0.757 \times 4 + 0.65 \times 0.607 \times 4) = 4.91$	4.9 m ²
基礎材	RC-40 t=15cm	$(1.2 \times 1.2) = 1.44$	1.4 m ²
グレーチング蓋	800-800用 T-25	1.0 = 1.0	1 枚
基面整正		$(1.2 \times 1.2) = 1.44$	1.4 m ²
集水桝(3)	B800-L800-H640	= 1.00	1 基
コンクリート	18-8-25BB	$(1.1 \times 1.1 \times 0.79 - 0.8 \times 0.8 \times 0.64) = 0.55$	0.55 m ³
型枠	小型構造物	$(1.1 \times 0.79 \times 4 + 0.65 \times 0.64 \times 4) = 5.14$	5.1 m ²
基礎材	RC-40 t=15cm	$(1.2 \times 1.2) = 1.44$	1.4 m ²
グレーチング蓋	800-800用 T-14	1.0 = 1.0	1 枚
基面整正		$(1.2 \times 1.2) = 1.44$	1.4 m ²

横断開渠工数量集計表

[illegible]

2号横断開渠工数量計算書

[illegible]

付属施設工数量集計表

1/1

[illegible]

付属施設工延長調書

NO. 1

歩車道境界ブロック						歩車道境界ブロック(乗入タイプ)					
始 測 点		終 測 点		延 長	備 考	始 測 点		終 測 点		延 長	備 考
N0. 2	+18. 2	N0. 2	+19. 3	2. 72	右側	N0. 2	+0. 3	N0. 2	+8. 1	11. 88	左側
						N0. 1	+19. 3	N0. 2	+3. 9	7. 63	右側
						N0. 2	+13. 9	N0. 2	+18. 6	11. 41	左側
						N0. 2	+10. 8	N0. 2	+17. 5	13. 45	右側
計				2. 7	m	計				44. 4	m

付属施設工延長調書

NO. 2

車止め				照明柱(信号供架柱)			
始 測 点	終 測 点	本数	備 考	始 測 点	終 測 点	本数	備 考
		3.00	北側・左歩行者溜まり			1.00	北側
		4.00	北側・右歩行者溜まり			1.00	南側
		4.00	南側・左歩行者溜まり				
		3.00	南側・右歩行者溜まり				
計		14.0	本	計		2.0	本

構造物取壊工数量集計表

NO. 1

種 別	規格	単 位	数 量	摘 要
舗装版切断（市道部）	アスファルトt=7cm	m	12.1	
舗装版破碎（市道部）	アスファルトt=7cm	m2	649.7	
舗装版切断（県道部）	アスファルトt=5cm	m	11.6	
舗装版破碎（県道部）	アスファルトt=5cm	m2	101.2	
As殻		m3	50.6	
重力式擁壁撤去	H=1200	m	78.7	
ベンチフリューム撤去	700型	m	14.0	
ベンチフリューム撤去	700型(蓋つき)	m	0.5	
構造物とりこわし	鉄筋コンクリート殻	m3	45.6	
取水工撤去	φ 150	m	6.5	
取水工撤去	φ 200	m	6.5	
AS殻処分		t	116.4	
CO殻処分	鉄筋	t	114.0	

構造物取壊し工数量計算書			
種別	規格・寸法	計 算 式	数 量
構造物取壊し工			
舗装版切断（市道部）	アスファルト t=7cm	構造物取壊し工延長調書(市道)より = 12.10	12.1 m
舗装版破碎（市道部）	アスファルト t=7cm	舗装版破碎面積計算書(市道)より = 649.70	649.7 m ²
As殻		649.70 × 0.07 = 45.48	45.5 m ³
構造物取壊し工			
舗装版切断（県道部）	アスファルト t=5cm	構造物取壊し工延長調書(県道)より = 11.60	11.6 m
舗装版破碎（県道部）	アスファルト t=5cm	舗装版破碎面積計算書(県道)より = 101.15	101.2 m ²
As殻		101.20 × 0.05 = 5.06	5.1 m ³
重力式擁壁撤去	H=1200	構造物取壊し工延長調書より = 78.70	78.7 m
ベンチフリューム撤去	700型	構造物取壊し工延長調書より = 14.00	14.0 m
ベンチフリューム撤去	700型(蓋つき)	構造物取壊し工延長調書より = 0.50	0.50 m
重力式擁壁撤去	H=1200	78.70 × 0.54 = 42.50	42.5 m ³
ベンチフリューム撤去	700型	14.00 × 0.21 = 2.94	2.9 m ³
ベンチフリューム撤去	700型(蓋つき)	0.50 × 0.33 = 0.17	0.2 m ³
Co殻	鉄筋	合計 = 45.61	45.6 m ³
処分			
AS殻	As	50.6 × 2.3 = 116.38	116.4 t
CO殻	鉄筋	45.60 × 2.5 = 114.00	114.0 t

構造物取壊し工延長調書

NO. 1

舗装版切断 (t=7cm)					重力式擁壁撤去				
始 測 点	終 測 点	延 長	備 考		始 測 点	終 測 点	延 長	備 考	
		6.1			NO. 0	-2.7	NO. 0	+11.6	14.2 左側
		6.0			NO. 0	15.6	NO. 2	+6.7	31.5 左側
					NO. 2	+10.2	NO. 3	+7.8	15.3 左側
					NO. 3	+16.9	NO. 4	14.6	17.7 左側
計		12.1	m		計			78.7	m

構造物取壊し工延長調書

NO. 2

ベンチフリューム700撤去						ベンチフリューム700(蓋付)撤去					
始 測 点		終 測 点		延 長	備 考	始 測 点		終 測 点		延 長	備 考
NO.0	-1.8	NO.0	+1.3	3.0	右側	NO.2	+2.5	NO.2	+2.8	0.5	右側
NO.1	+19.3	NO.2	+2.5	3.0	右側						
NO.2	14.3	NO.3	+1.7	8.0	右側						
計				14.0 m		計				0.5 m	

構造物取壊し工延長調書

NO. 3

舗装版切断 (t=5cm)					取水工撤去				
始 測 点	終 測 点	延 長	備 考		始 測 点	終 測 点	延 長	備 考	
		5.1			BC. 1		6.5	VU φ 150	
		6.5			No. 2		6.5	VU φ 200	
計		11.6	m						

鋪裝版破碎面積計算書(市道)

[illegible]

舗装版破碎面積計算書(県道)

[illegible]

資材単価等について

令和5年度 交通安全対策補助事業 市道三郷1661号線道路改良に係る工事費の積算にあたっては、長野県建設部の「令和5年度実施設計単価表」や積算資料(財団法人経済調査会)及び建設物価(財団法人建設物価調査会)に設定されている単価により予定価格を算出しています。

また、見積もり等による単価は下記のとおりです。

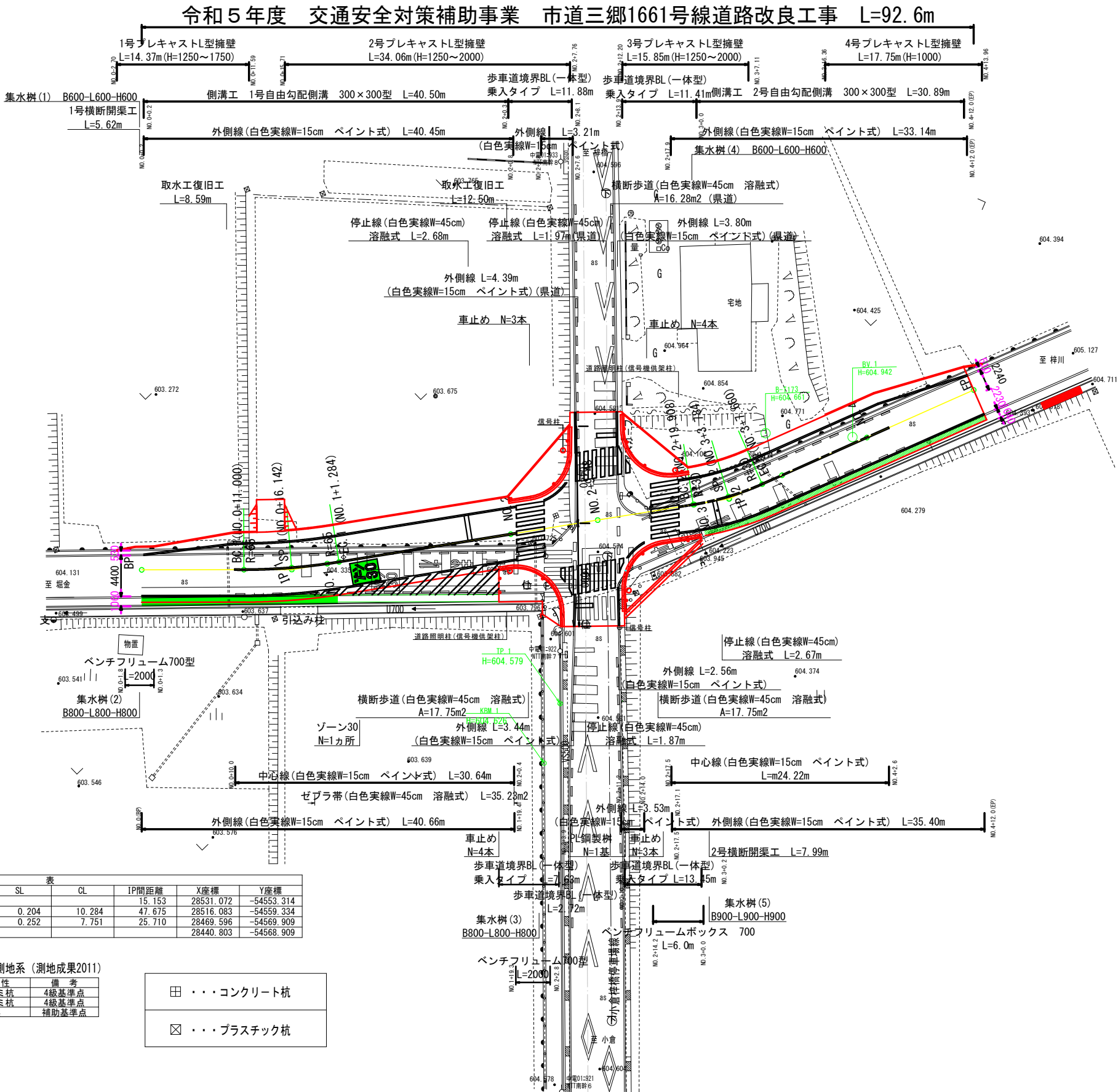
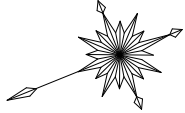
なお、使用した単価は予定価格算出のものであり、特定の製品や民間取引を指定したものではありません。

見積等により決定している設計単価

(四)

[illegible]

平面図 S=1:250 安曇野市 三郷明盛



線形要素表

IP	IP間方向角	IA	R	曲	TL	線	SL	表	CL	IP間距離	X座標	Y座標
BP	201-52-51									15.153	28531.072	-54553.314
IP.1	192-48-57	9-03-54	65.000		5.153		0.204		10.284	47.675	28516.083	-54559.334
IP.2	178-00-42	14-48-14	30.000		3.897		0.252		7.751	25.710	28469.596	-54569.909
EP										28440.803	-54568.909	

基準点座標一覧表

点名	X座標	Y座標	Z座標	抗属性	備考
B-T172	28358.384	-54495.946	605.191	アルミ杭	4級基準点
B-T173	28463.307	-54564.829	604.661	アルミ杭	4級基準点
TP.1	28494.709	-54583.518	604.579	鉄	補助基準点

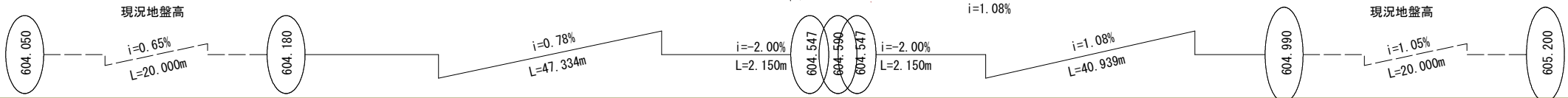
世界測地系 (測地成果2011)

田	コンクリート杭
☒	プラスチック杭

※擁壁工設置の際は平板載荷試験により地盤支持力を確認する事。

令和5年度 交通安全対策補助事業		
市道三郷1661号線 道路改良工事		
番号	1/20	平面図 縮尺 S=1:250
市道三郷1661号線		
安曇野市 三郷明盛		
設計会社	株式会社アンドー	
測量会社	株式会社日研コンサル	
調査会社	安曇野市役所	

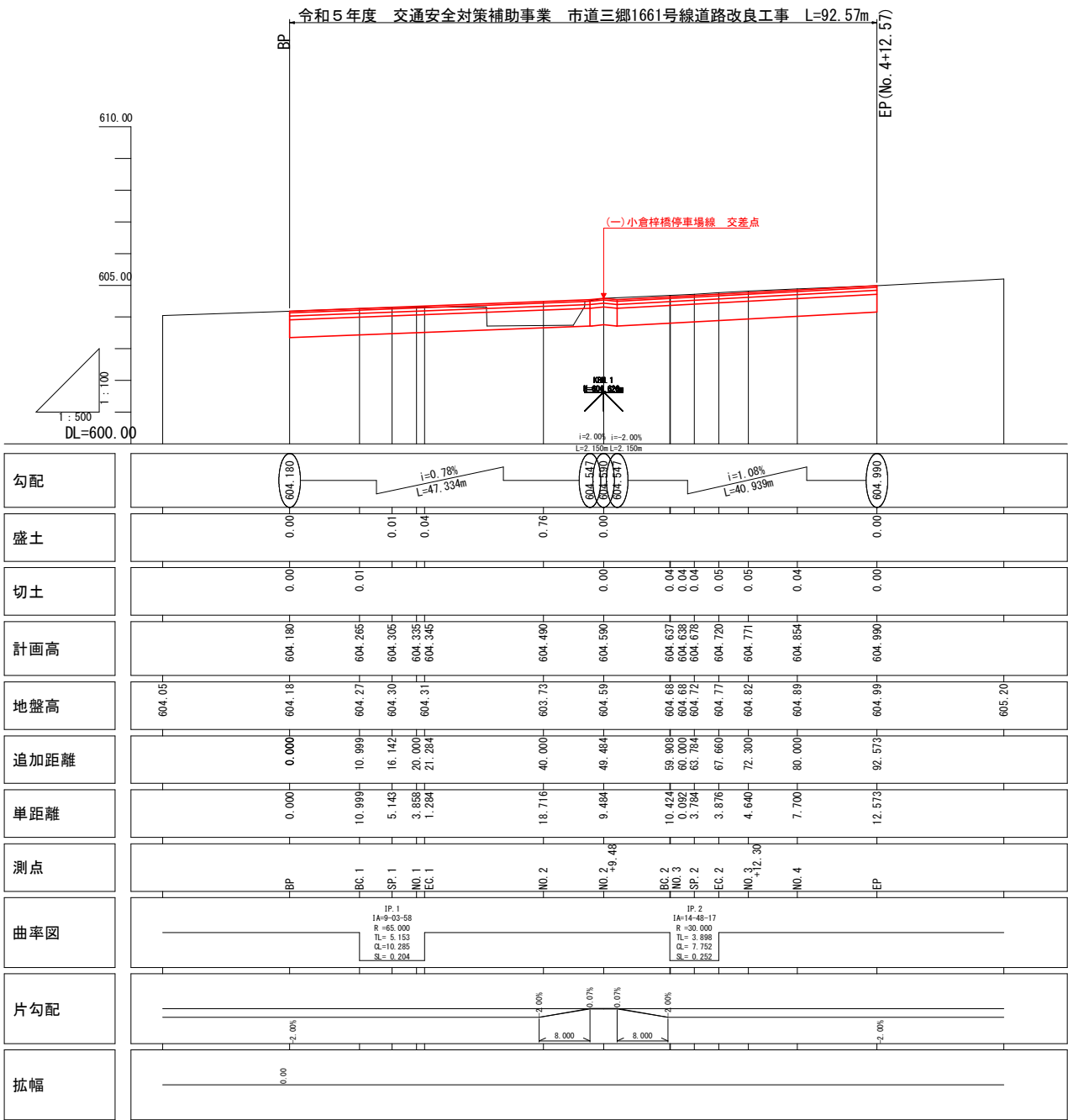
計画縦断線



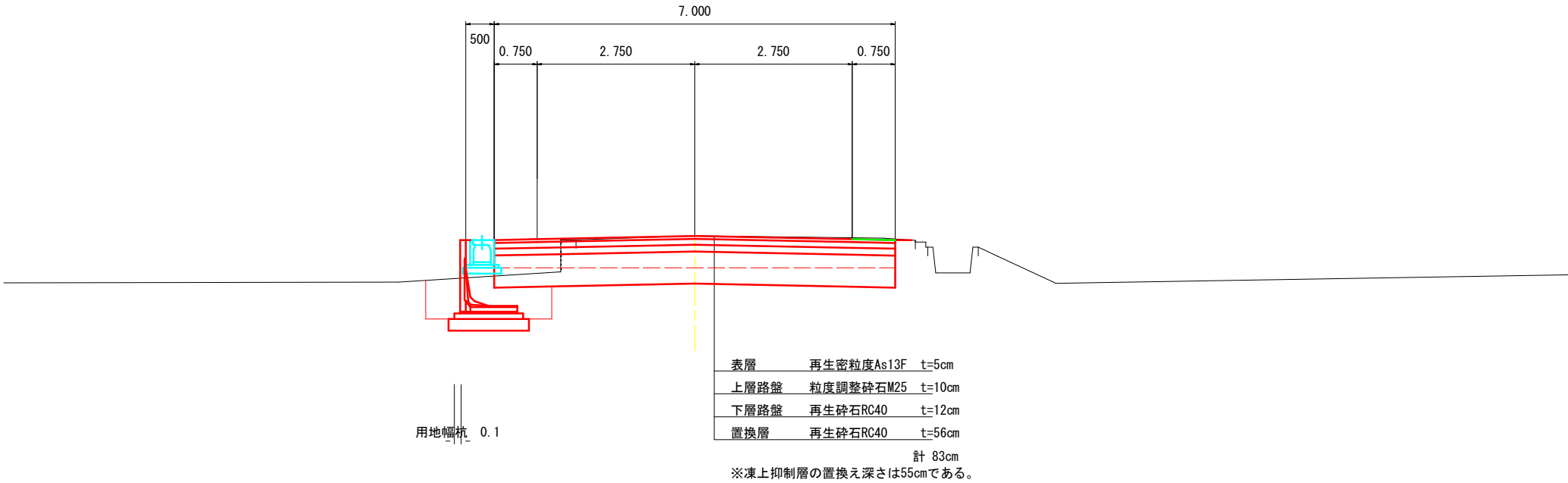
縦断面図

HS 1:500
VS 1:100

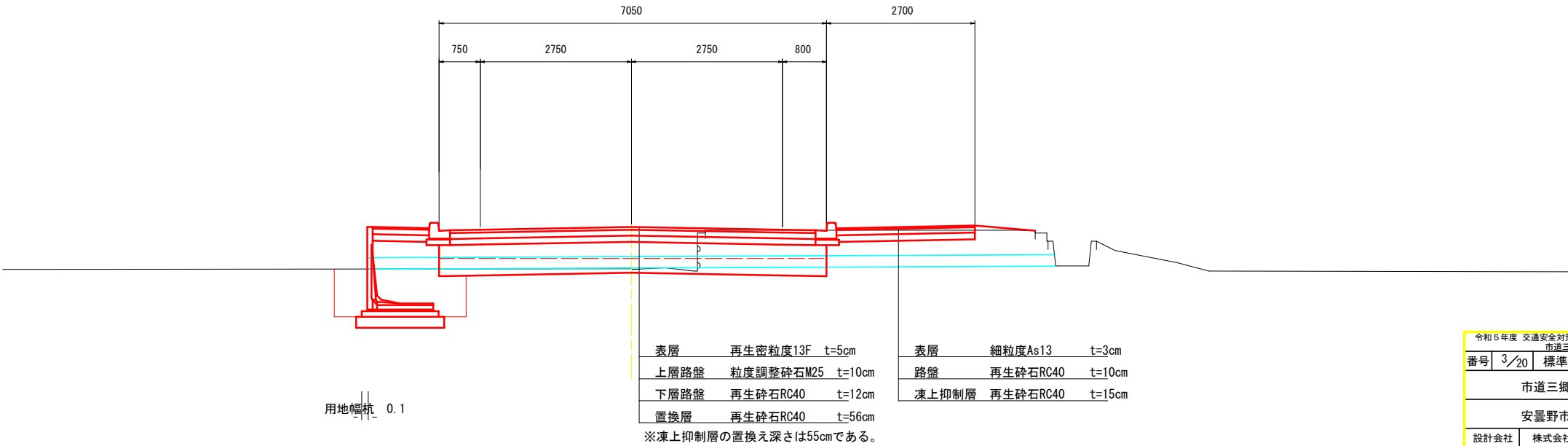
安曇野市 三郷明盛



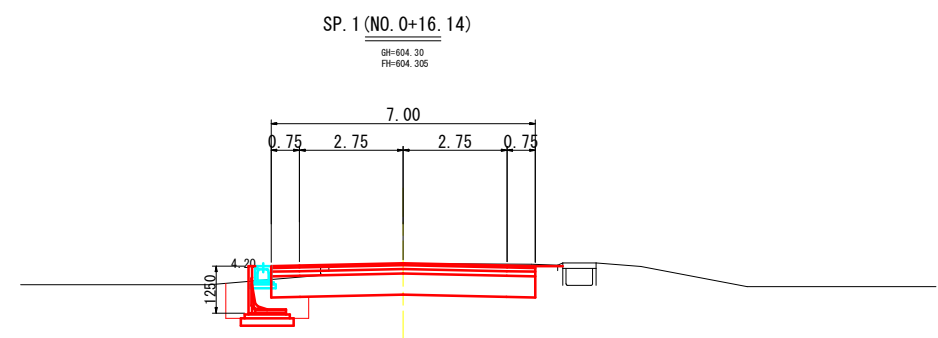
標準部 (BC. 1付近)



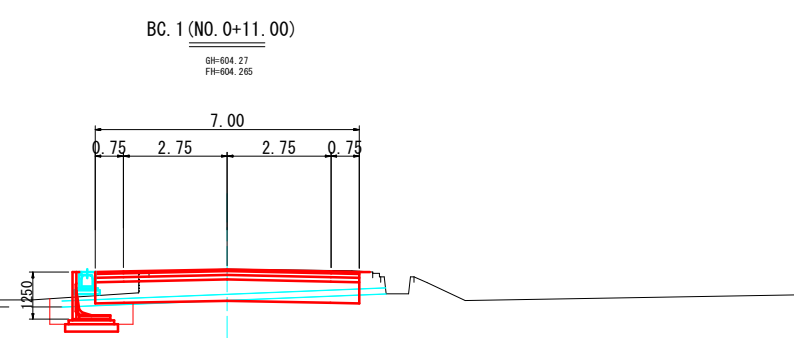
歩道部 (NO. 2付近)



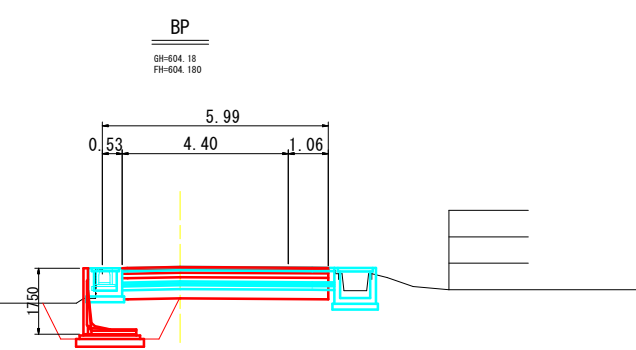
令和5年度 交通安全対策補助事業			
市道三郷1661号線 道路改良工事			
番号	3/20	標準横断面図	縮尺 1:50
市道三郷 1661号線			
安曇野市 三郷明盛			
設計会社	株式会社アンドー		
測量会社	株式会社アンドー		
安曇野市役所			



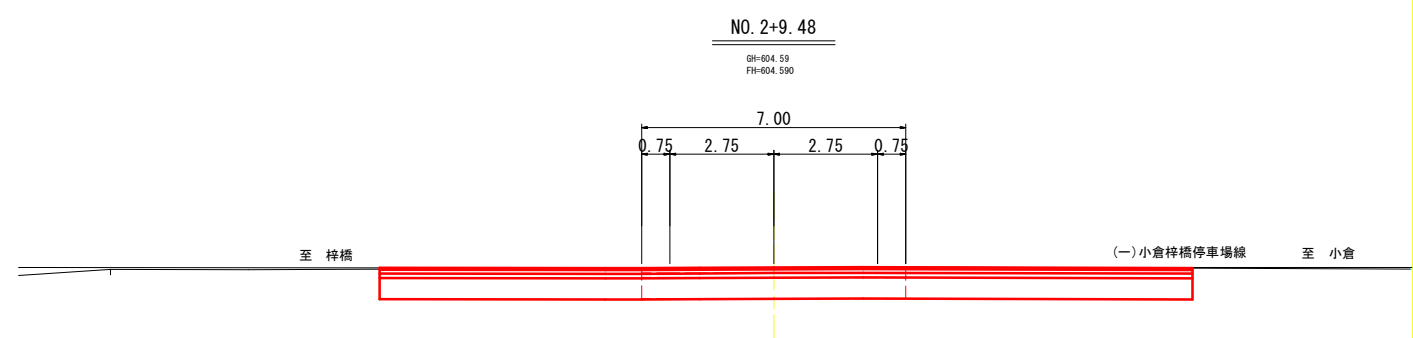
DL=600.00



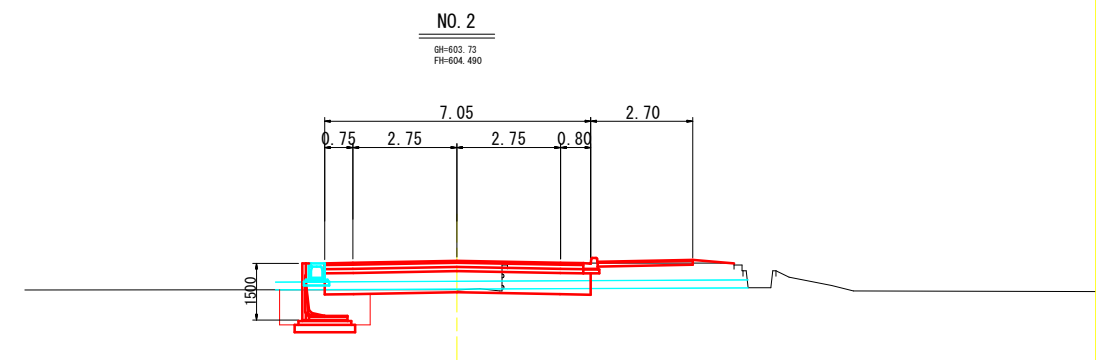
DL=600.00



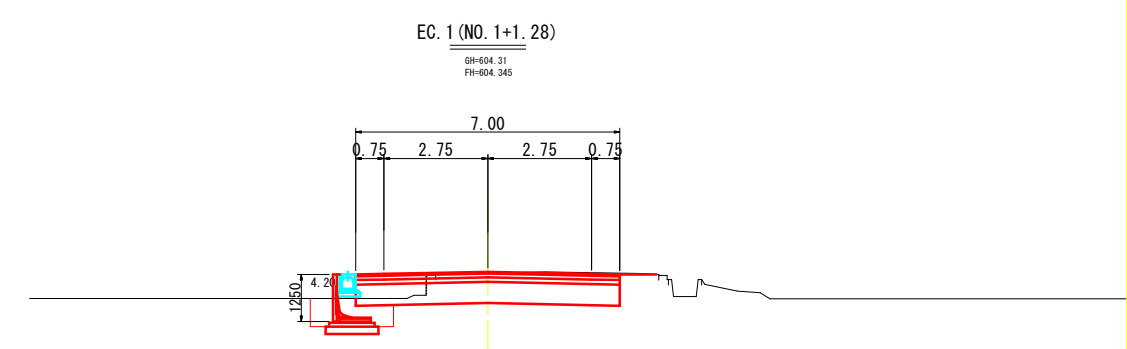
DL=600.00



DL=600.00

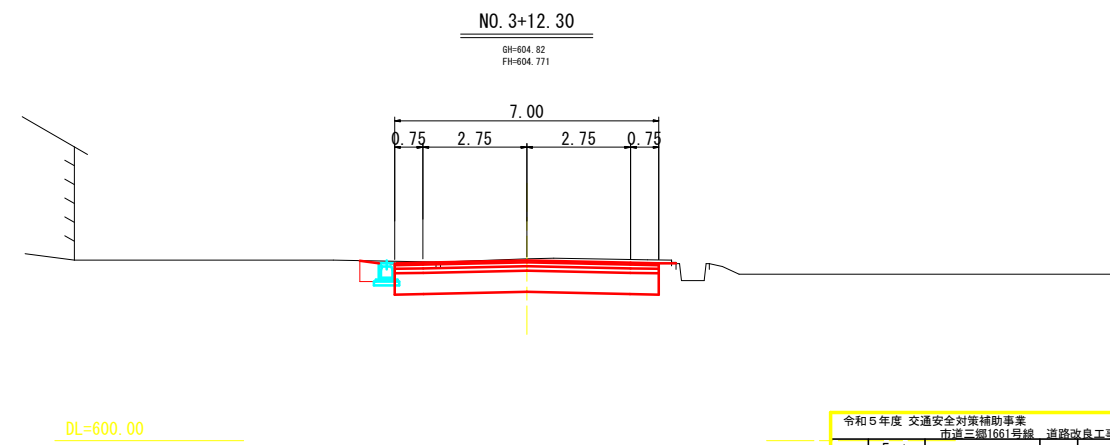
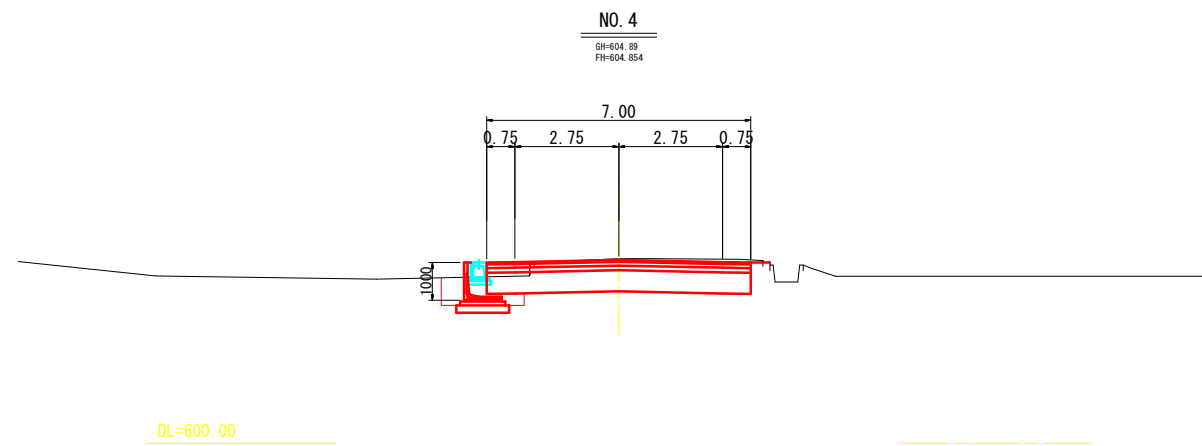
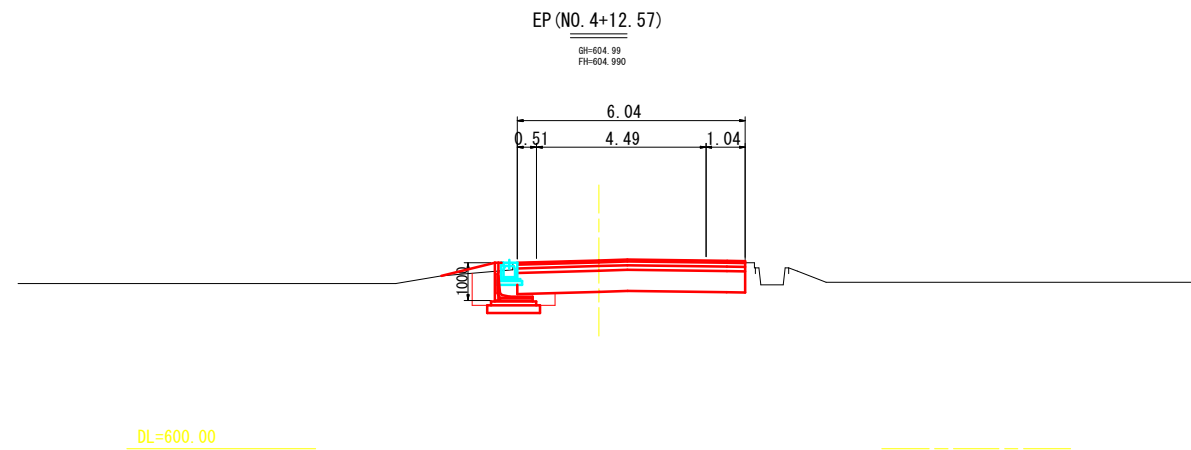
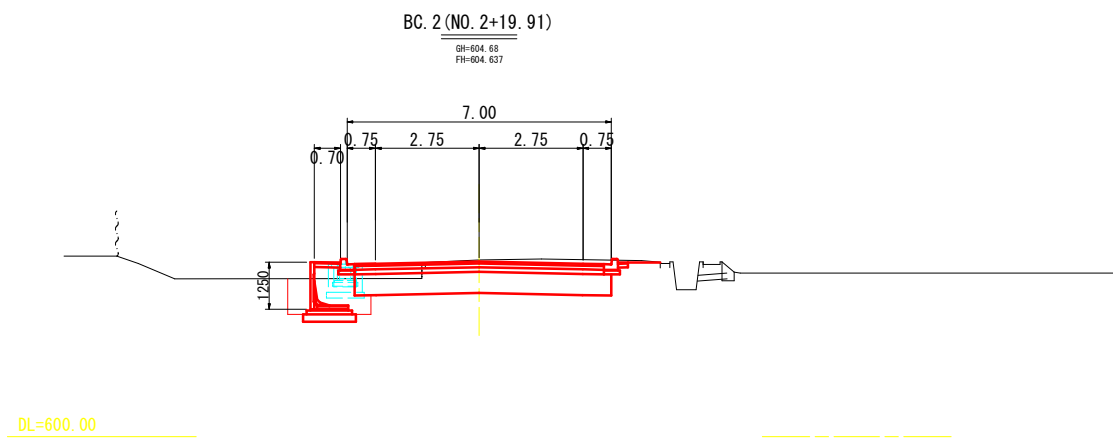
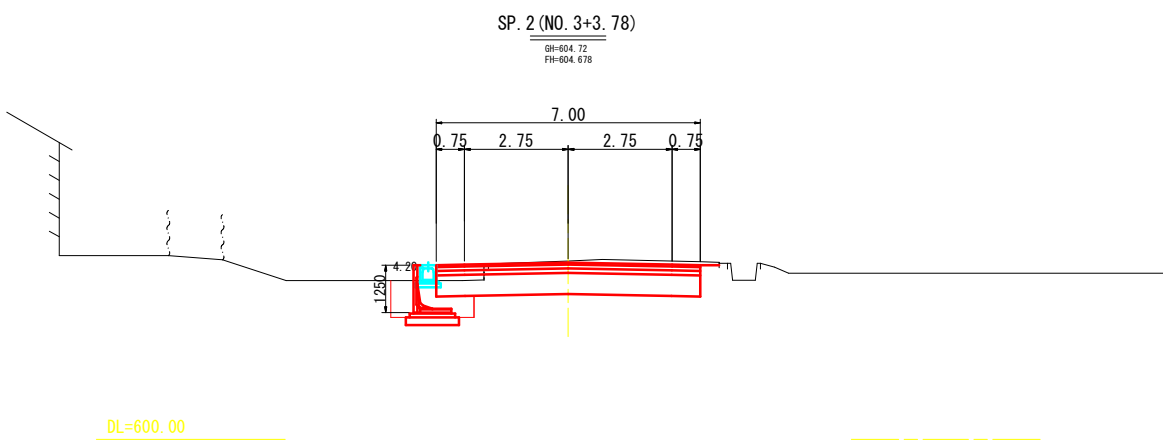
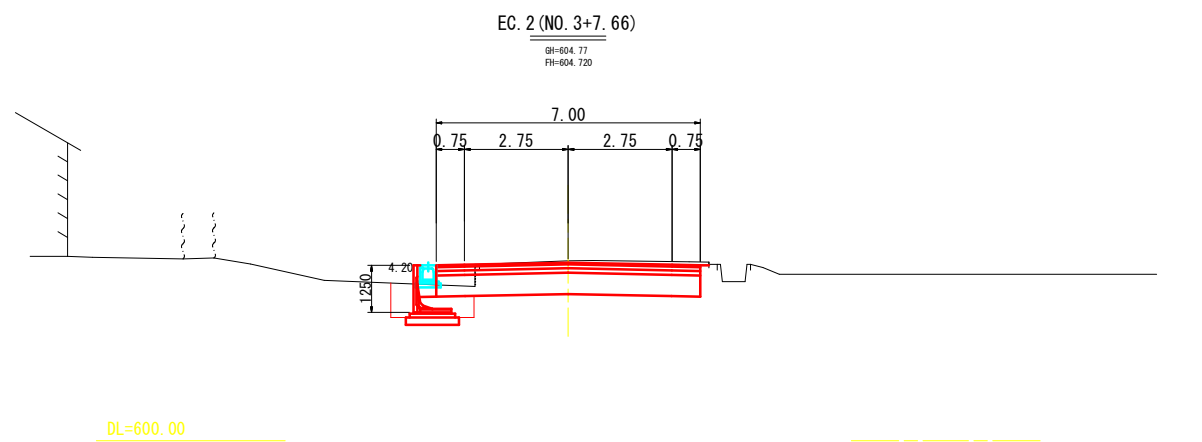


DL=600.00



DL=600.00

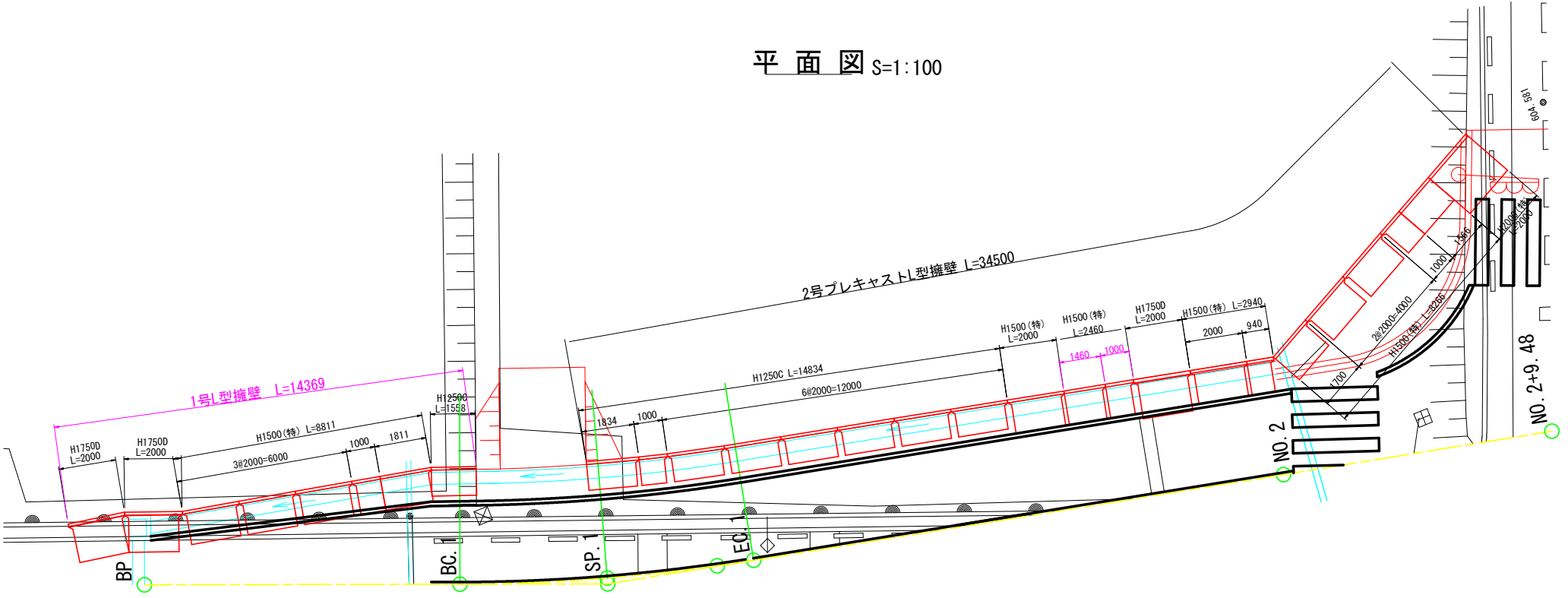
令和5年度 交通安全対策補助事業			
市道三郷1661号線 道路改良工事			
番号	4/20	横断面(1)	縮尺 1:100
市道三郷 1661号線			
安曇野市 三郷明盛			
設計会社	株式会社アンドー		
測量会社	株式会社アンドー		
安曇野市役所			



令和5年度 交通安全対策補助事業			
市道三郷1661号線 道路改良工事			
番号	5/20	横断図(2)	縮尺 1:100
市道三郷 1661号線			
安曇野市 三郷明盛			
設計会社	株式会社アンドー		
測量会社	株式会社アンドー		
	安曇野市役所		

プレキャストL型擁壁割付図(1/2)_{S=1:100}

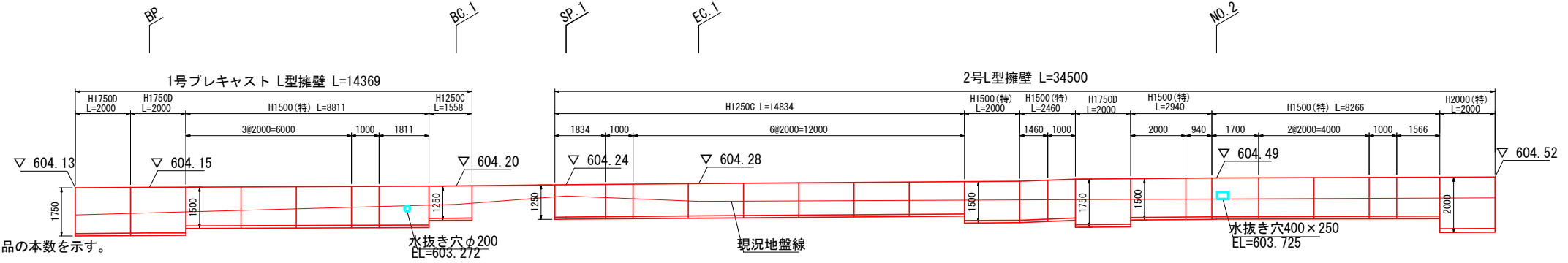
平面図 _{S=1:100}



1号プレキャストL型擁壁
使用本数表

H (mm)	タイプ	使用本数(本)	
		標準 L=2.0m	短尺
1000	特	-	-
1250	C	-	1
1500	特	3	2(2)
1750	D	2	-
2000	特	-	-

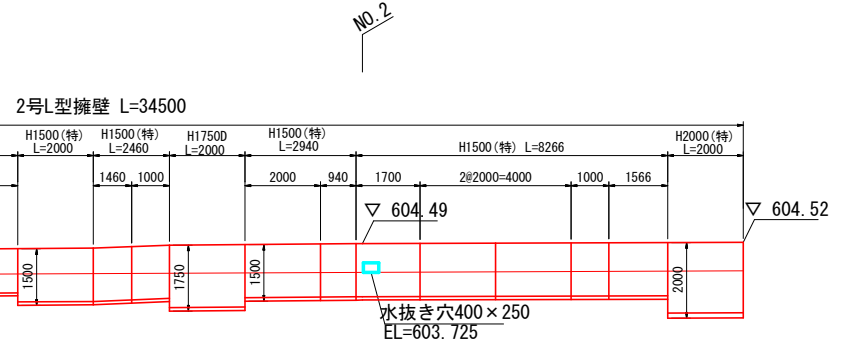
注) ()内は、使用本数のうち縦壁開口品の本数を示す。



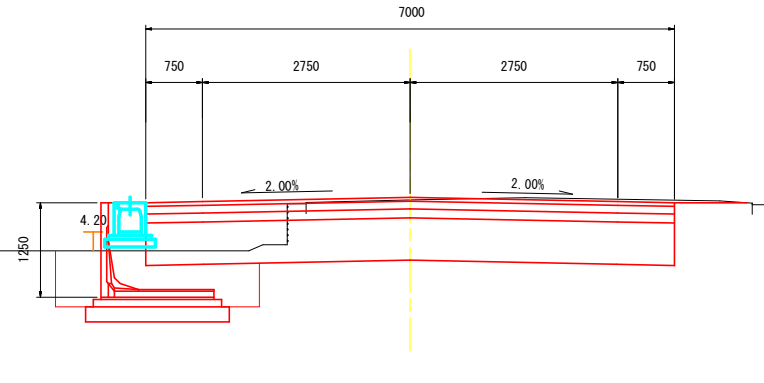
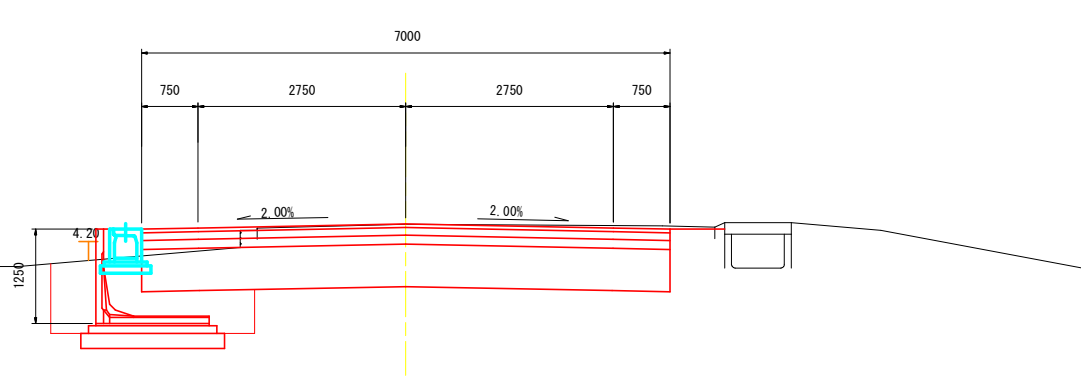
1号プレキャストL型擁壁標準横断図 _{DL=600.00}
1:50

2号プレキャストL型擁壁
使用本数表

H (mm)	タイプ	使用本数(本)	
		標準 L=2.0m	短尺
1000	特	-	-
1250	C	6	2
1500	特	4	6
1750	D	1	-
2000	特	1	-



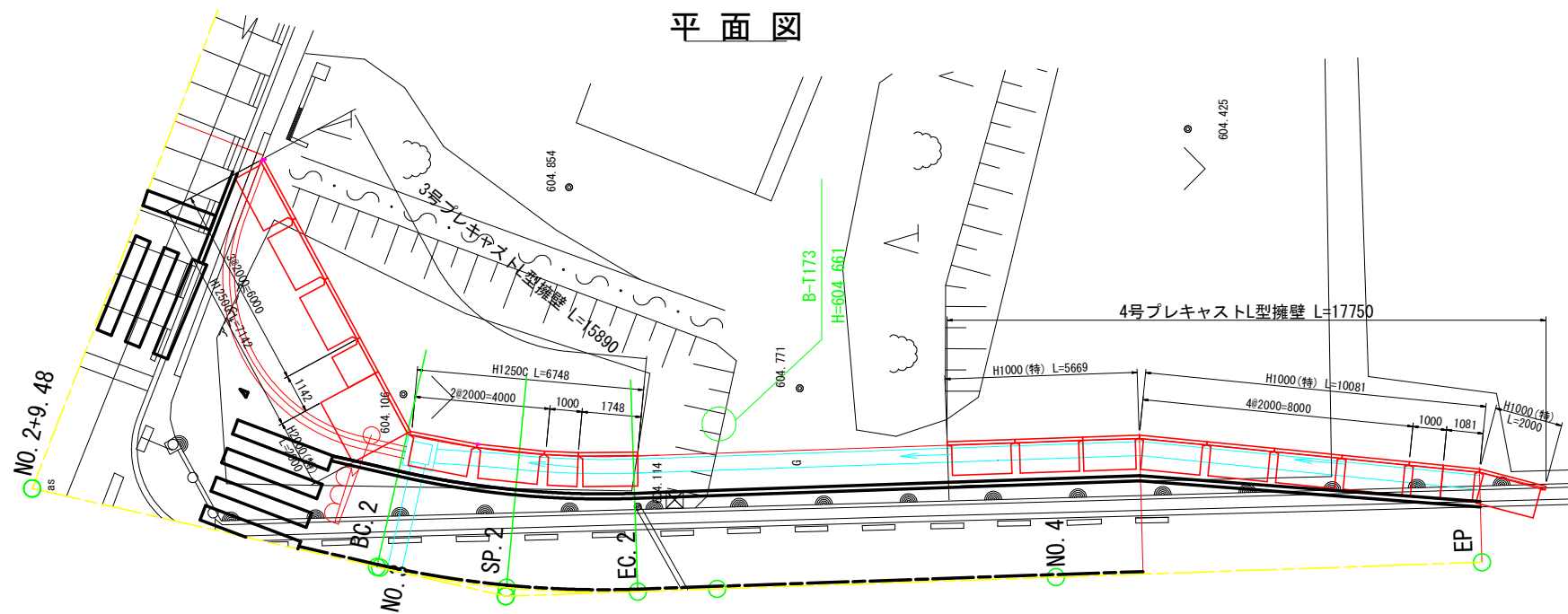
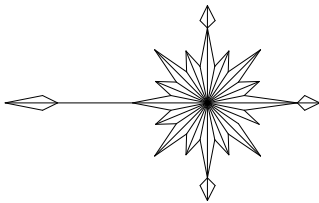
2号プレキャストL型擁壁標準横断図 _{DL=600.00}
1:50



※擁壁工設置の際は平板載荷試験により地盤支持力を確認する事。

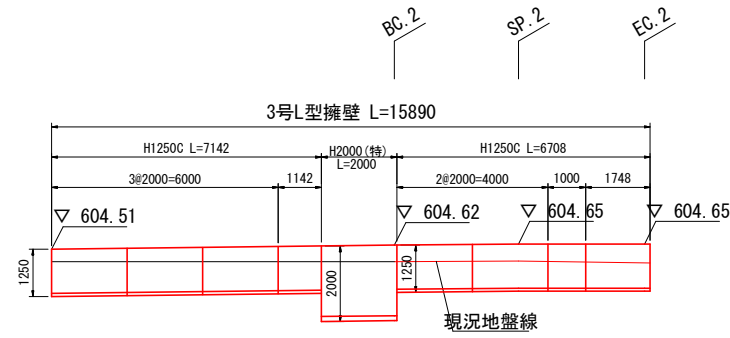
令和5年度 交通安全対策補助事業	
市道三郷1661号線 道路改良工事	
番号	6/20
プレキャストL型擁壁 割付図(1/2)	
縮尺 図示	
市道三郷 1661号線	
安曇野市 三郷明盛	
設計会社	株式会社アンドー
測量会社	株式会社アンドー
安曇野市役所	

プレキャストL型擁壁割付図(2/2)
S=1:100



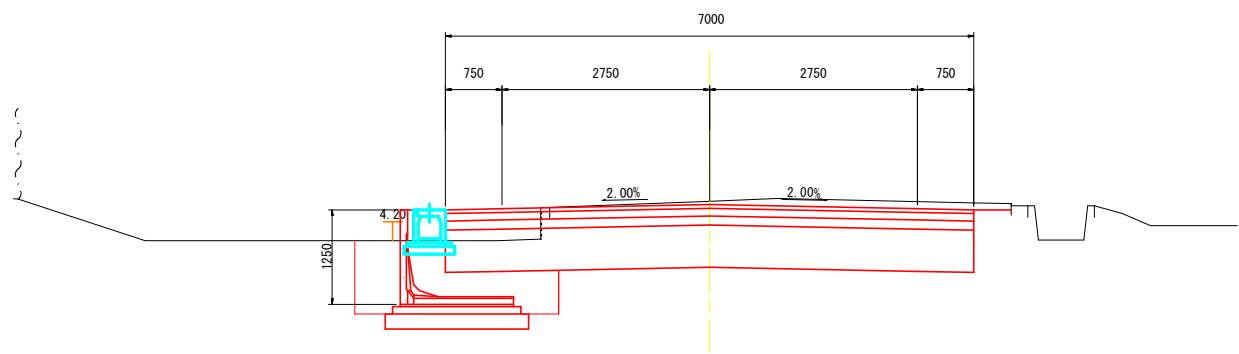
3号プレキャストL型擁壁
使用本数表

H (mm)	タイプ	使用本数(本)	
		標準 L=2.0m	短尺
1000	特	-	-
1250	C	5	3
1500	特	-	-
1750	D	-	-
2000	特	1	-



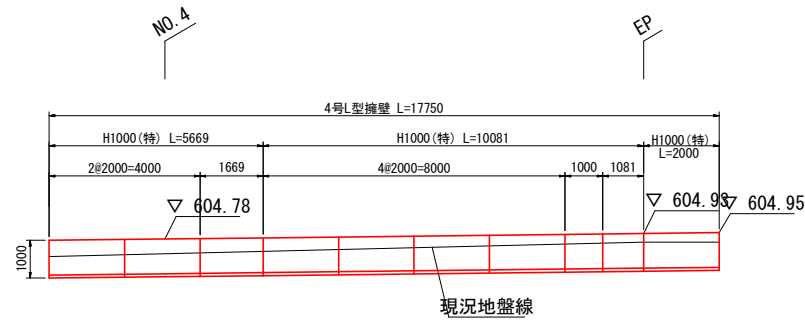
DL=600.00

3号プレキャストL型擁壁標準横断面図=1:50



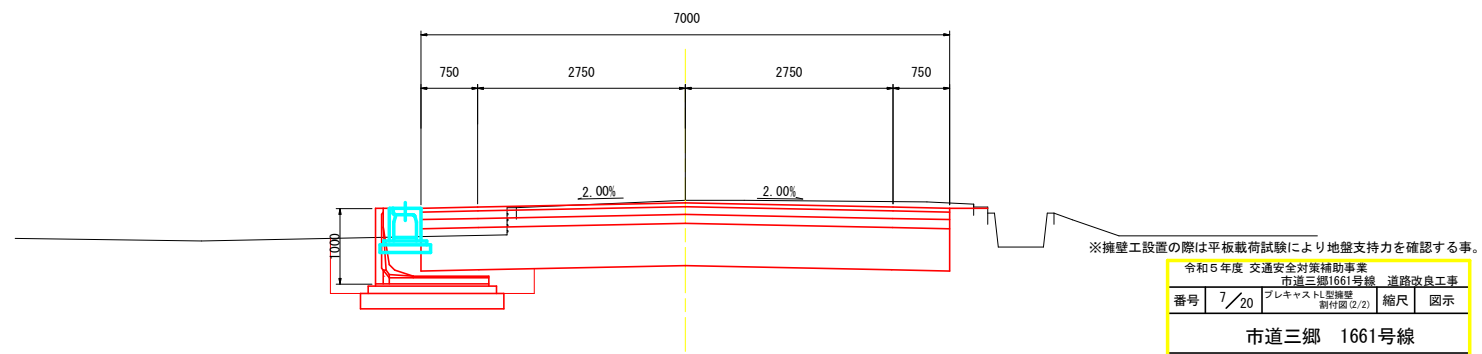
4号プレキャストL型擁壁
使用本数表

H (mm)	タイプ	使用本数(本)	
		標準 L=2.0m	短尺
1000	特	7	3
1250	C	-	-
1500	特	-	-
1750	D	-	-
2000	特	-	-



DL=600.00

4号プレキャストL型擁壁標準横断面図=1:50

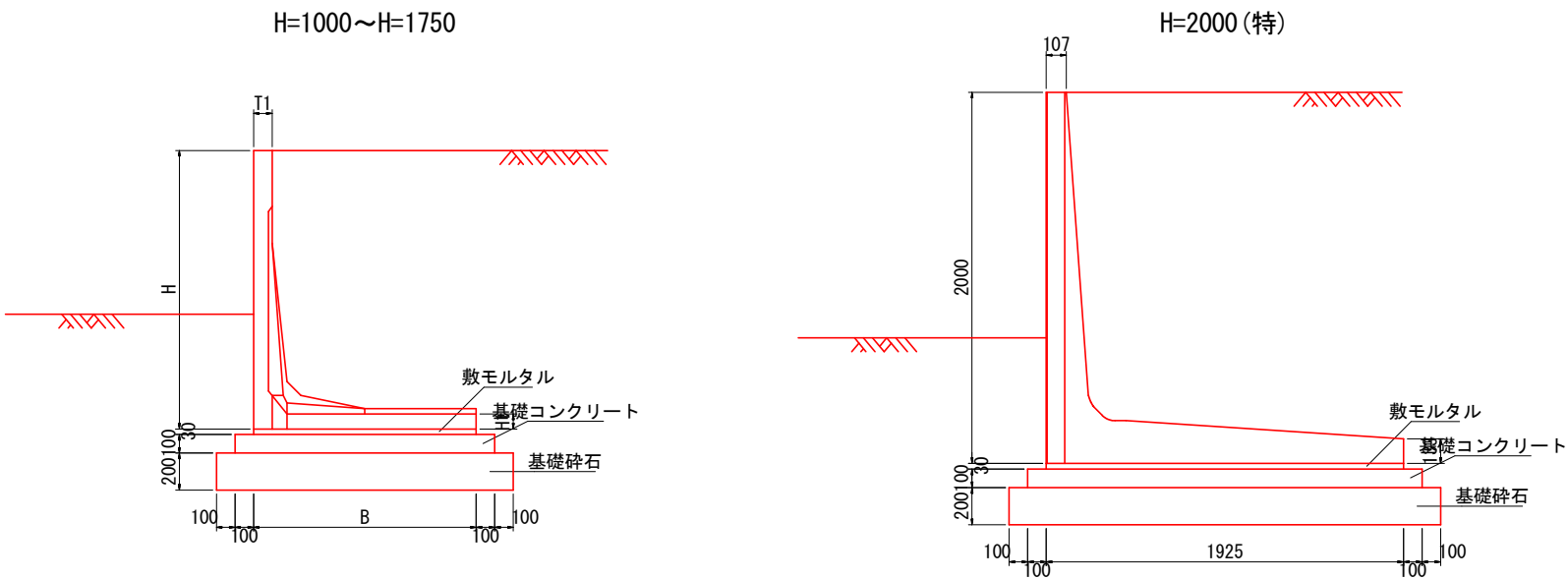


※擁壁工設置の際は平板載荷試験により地盤支持力を確認する事。

令和5年度 交通安全対策補助事業			
市道三郷1661号線 道路改良工事			
番号	7/20	プレキャストL型擁壁 割付図(2/2)	縮尺 図示
市道三郷 1661号線			
安曇野市 三郷明盛			
設計会社	株式会社アンドー		
測量会社	株式会社アンドー		
安曇野市役所			

プレキャストL型擁壁構造図=1:20

プレキャストL型擁壁 標準断面図



L型擁壁 数量表

H (mm)	タイプ	B (mm)	T1 (mm)	H1 (mm)	製品重量 (kg)	基礎工数量 (延長10m当り)				使用本数(本)		備考
						敷モルタル (m3)	コンクリート (m3)	均し型枠 (m2)	基礎材 (m2)	標準 L=2.0m	短尺	
1000	特	1500	100	80	—	0.450	1.700	2.00	19.00	7	3	H1250C天端カット
1250	C	1500	100	80	1137	0.450	1.700	2.00	19.00	11	6	
1500	特	1750	120	90	—	0.525	1.950	2.00	21.50	7	8(2)	H1750D天端カット
1750	D	1750	120	90	1722	0.525	1.950	2.00	21.50	3	—	

注) 基礎工の寸法及び数量は、いずれも参考値です。
注) 製品重量は、製品長 L=2.0m(標準品)の重量です。
注) ()内は、使用本数のうち縦壁開口品の本数を示す。

L型擁壁 数量表

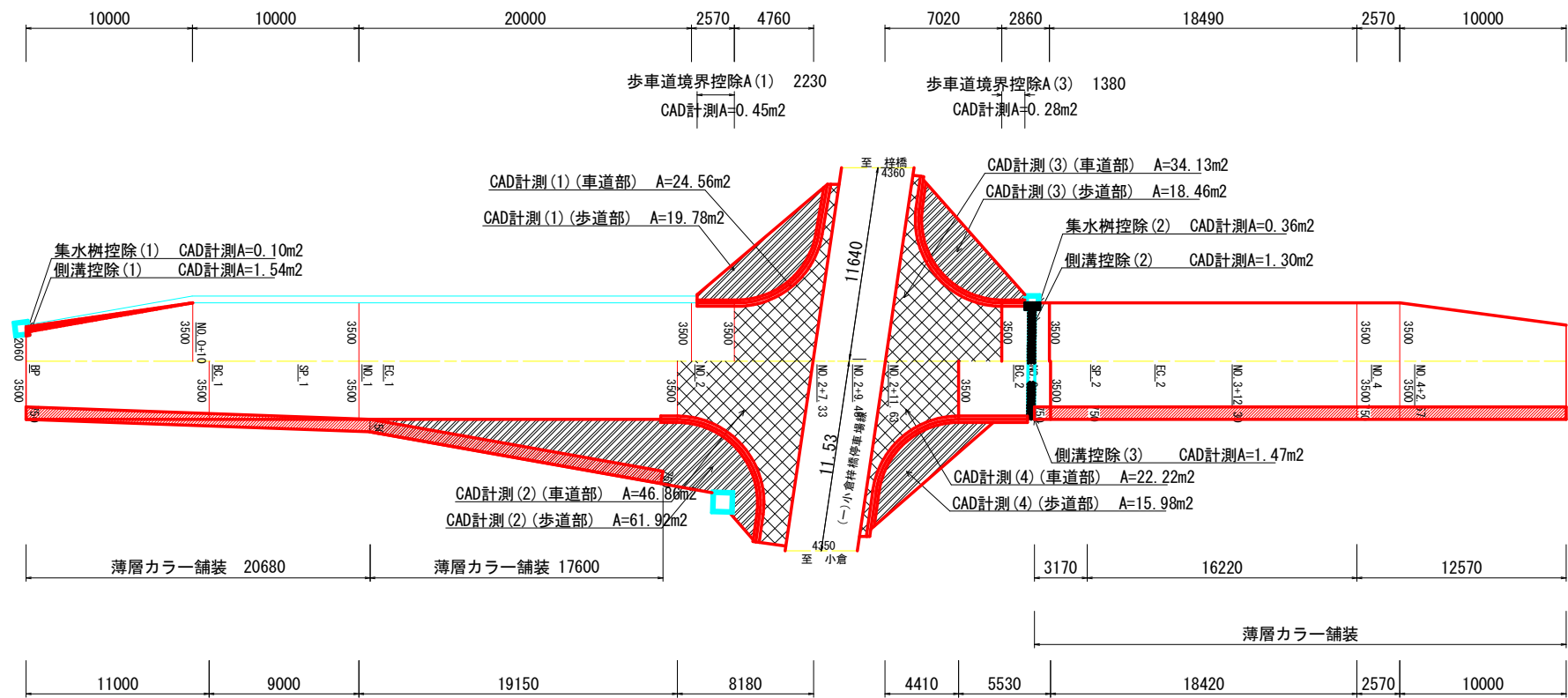
基礎工数量 (延長10m当り)				使用本数(本)	
敷モルタル (m3)	コンクリート (m3)	均し型枠 (m2)	基礎材 (m2)	標準 L=2.0m	短尺
0.578	2.125	2.00	23.25	2	—

注) 基礎工の寸法及び数量は、いずれも参考値です。

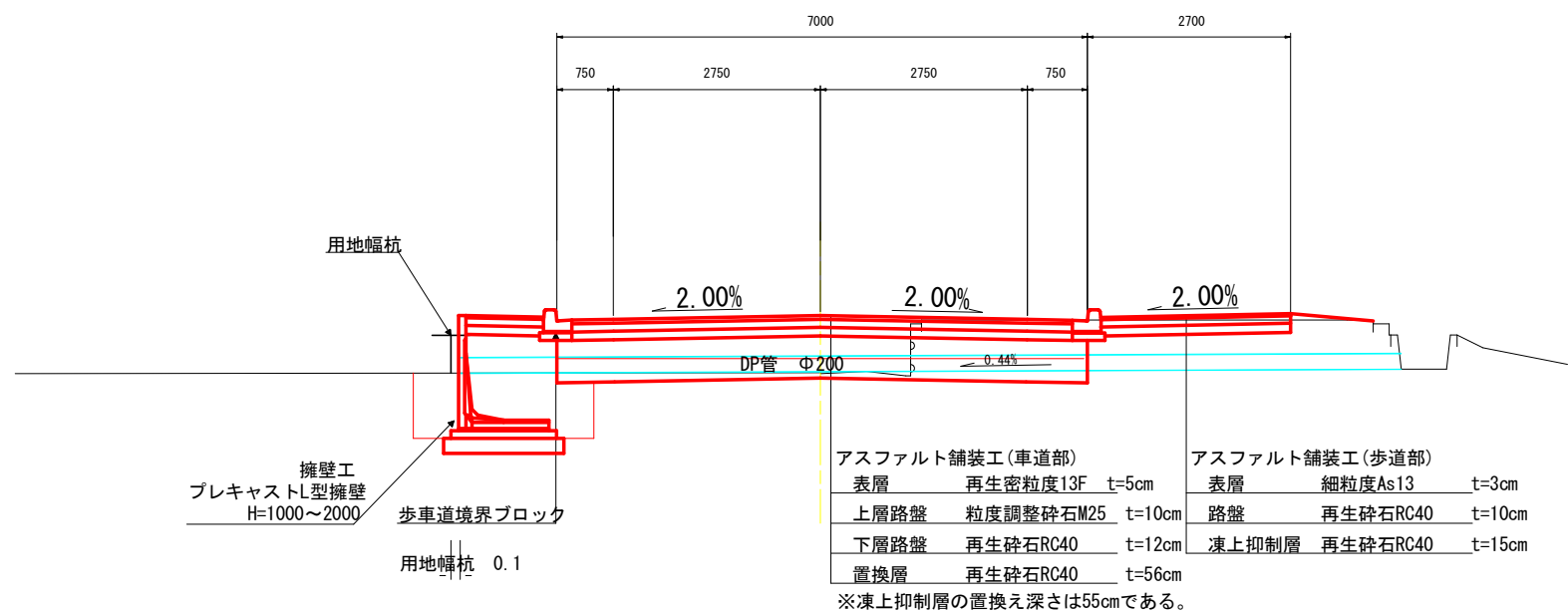
令和5年度 交通安全対策補助事業					
市道三郷1661号線 道路改良工事					
番号	8/20	プレキャストL型擁壁 構造図		縮尺	1:20
市道三郷 1661号線					
安曇野市 三郷明盛					
設計会社	株式会社アンドー				
測量会社	株式会社アンドー				
安曇野市役所					

舗装工展開図 S=1:200

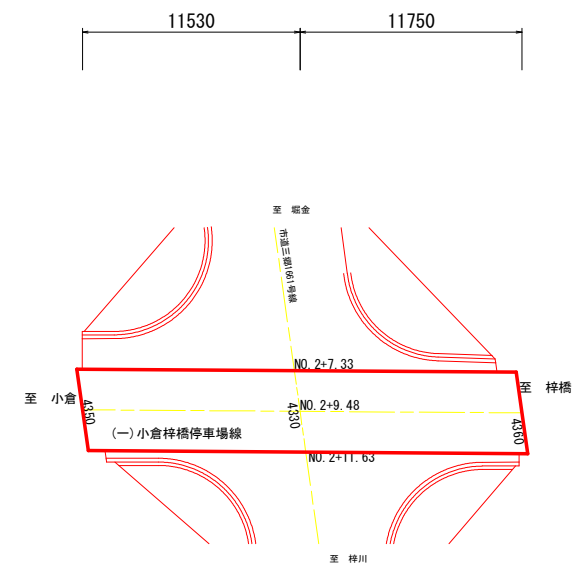
市道三郷1661号線



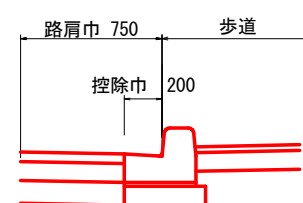
標準横断面図 S=1:50



(一) 小倉梓橋停車場線

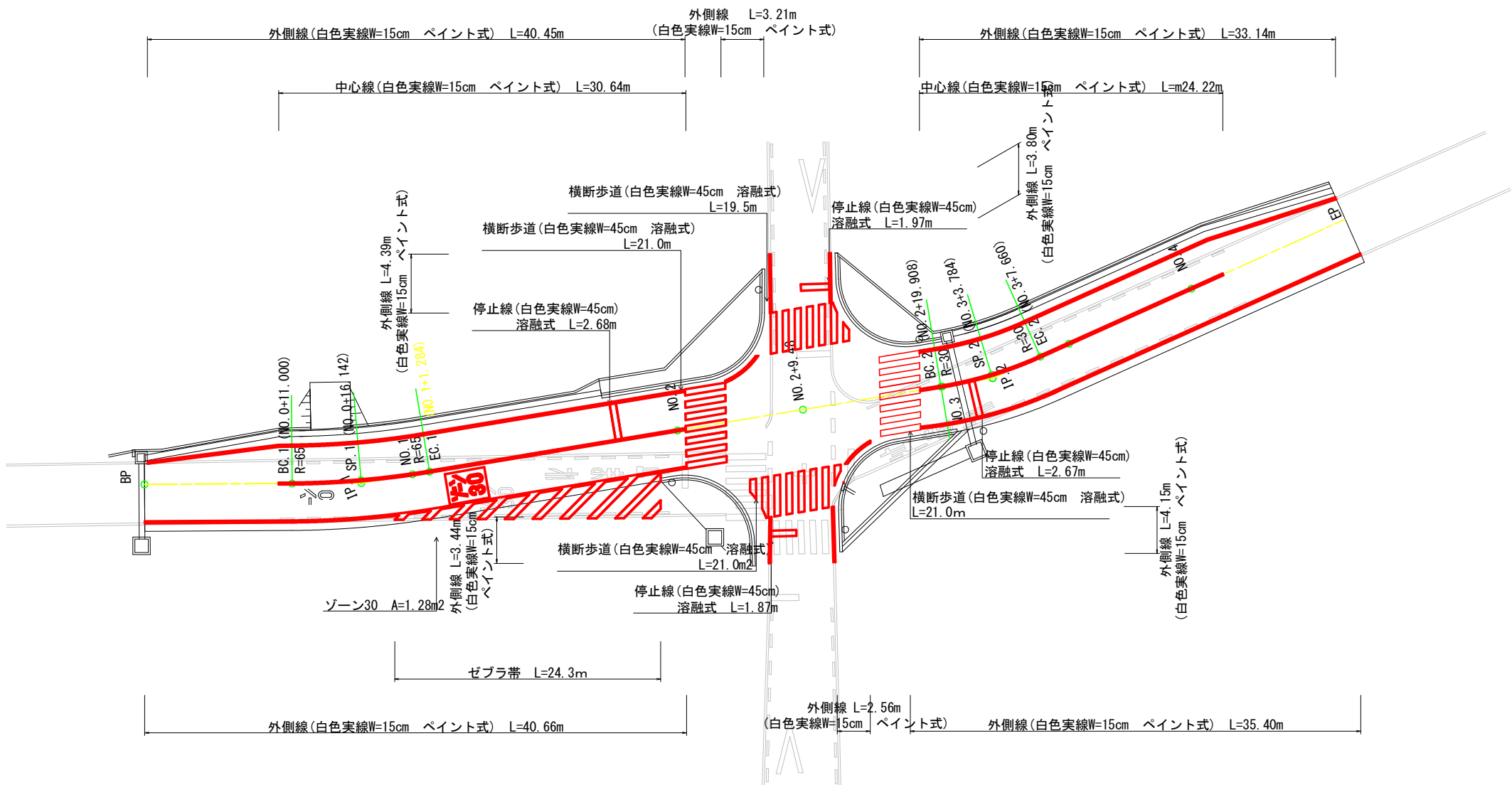
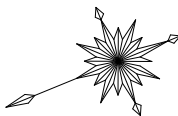


歩車道境界控除A S=1:20



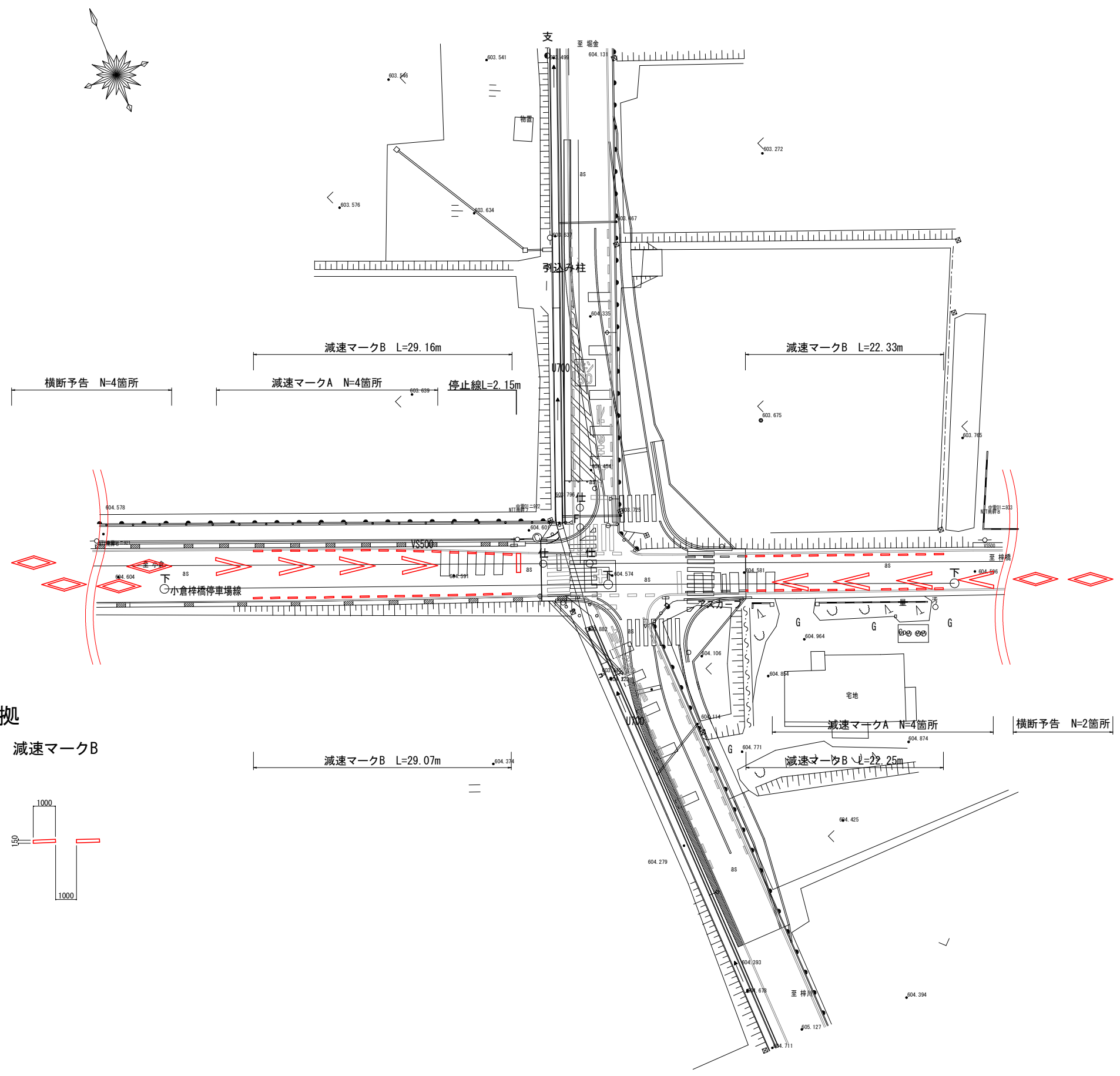
令和5年度 交通安全対策補助事業			
市道三郷1661号線 道路改良工事			
番号	9/20	舗装工展開図	縮尺 図示
市道三郷 1661号線			
安曇野市 三郷明盛			
設計会社	株式会社アンドー		
測量会社	株式会社アンドー		
安曇野市役所			

区画線工平面図S=1:200

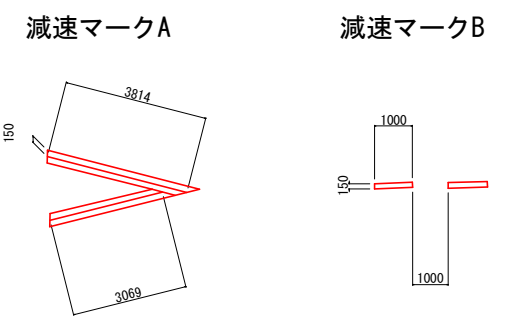


令和5年度 交通安全対策補助事業			
市道三郷1661号線 道路改良工事			
番号	10/20	区画線工平面図	縮尺 S=1:200
市道三郷1661号線			
安曇野市 三郷明盛			
設計会社	株式会社アンドー		
測量会社	株式会社日研コンサル		
調査会社			
安曇野市役所			

区画線消去工平面図 S=1:250 安曇野市 三郷明盛



撤去数量根拠

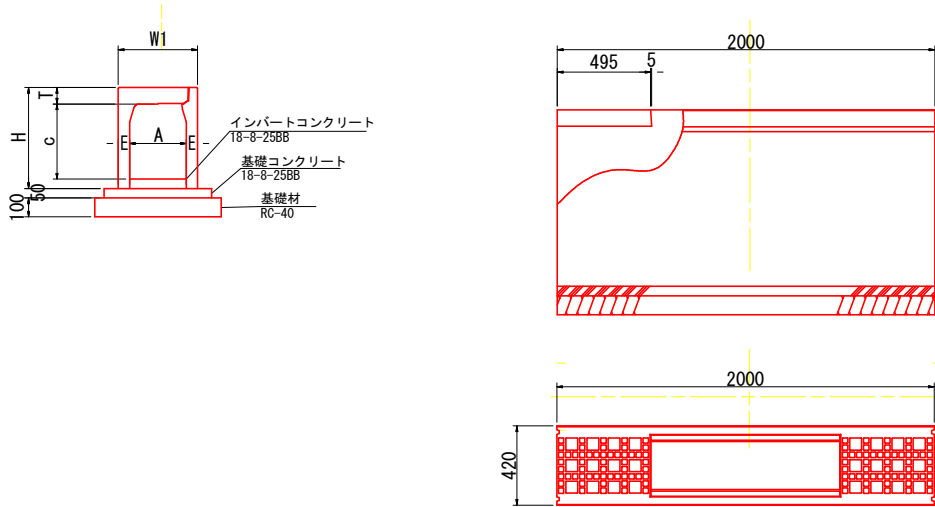


令和5年度 交通安全対策補助事業		
市道三郷1661号線 道路改良工事		
番号	11/20	区画線消去平面図 縮尺 S=1:250
市道三郷1661号線		
安曇野市 三郷明盛		
設計会社	株式会社アンドー	
測量会社	株式会社日研コンサル	
調査会社		
安曇野市役所		

排水工構造図

自由勾配側溝（縦断用）

S=1:20



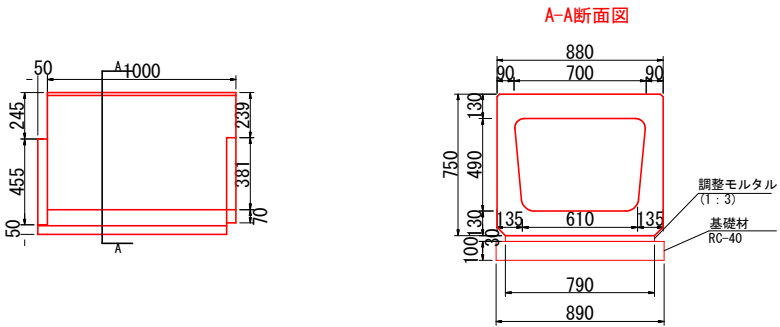
寸法表及び材料表（10m当たり）

呼 び 名 (幅×高)	寸 法 (mm)							参考重量 (kg)	インバートコン (m3)	基礎コン (m3)	型 枠 (m2)	基礎材 (m ²)
	A	C	W	W1	H	T	E					
300×300	300	298	420	420	435	87	60	315	0.150	0.285	1.0	6.70

注：基礎材厚は、10cmです。

ベンチフリュームボックス S=1:20

700型



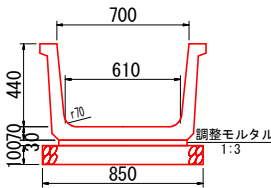
材料表（10m当たり）

呼 び 名	参考重量 (kg)	個 数 (個)	調整モルタル (m3)	基礎材 (m2)
700	8080	10	0.24	8.9

ベンチフリューム

S=1:20

700型

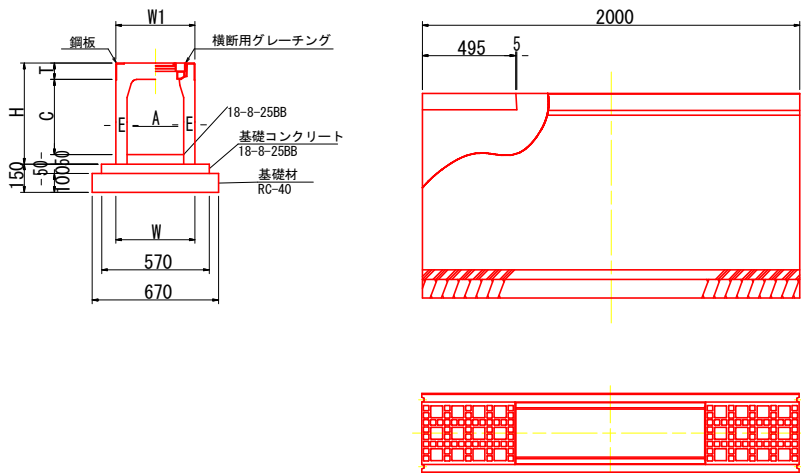


材料表（10m当たり）

呼 び 名	参考重量 (kg)	個 数 (個)	調整モルタル (m3)	基礎材 (m2)
700	2760	10	0.20	8.5

自由勾配側溝（横断用）

S=1:20



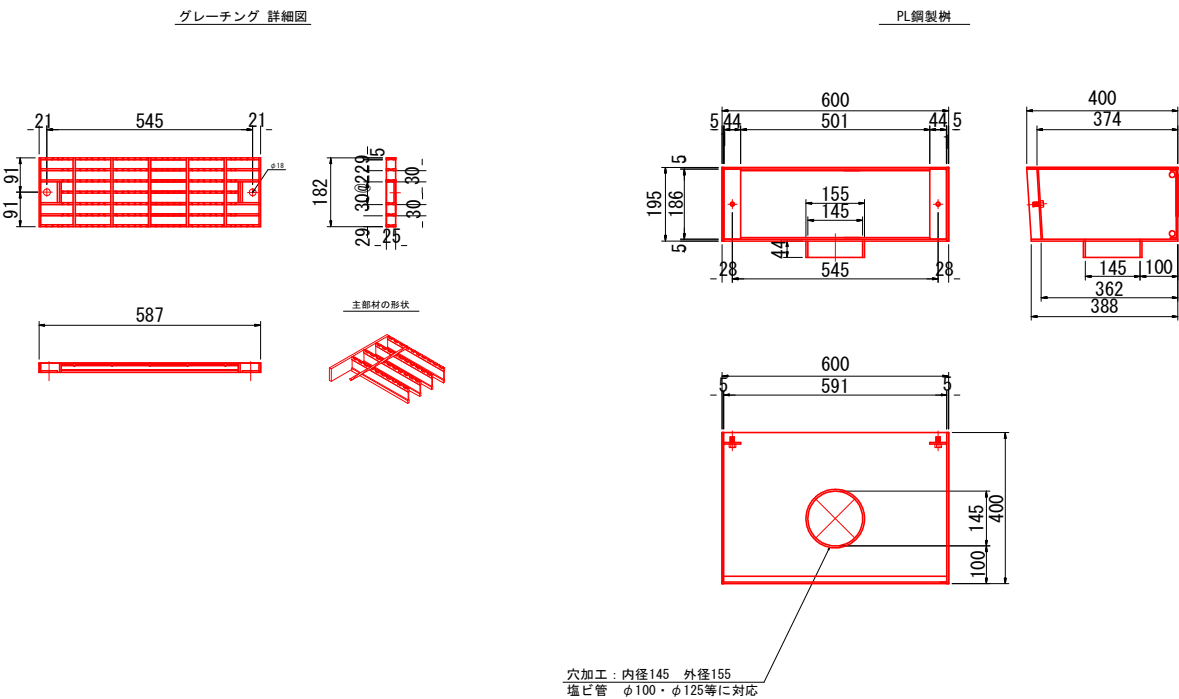
寸法表及び材料表（10m当たり）

呼 び 名 (幅×高)	寸 法 (mm)							参考重量 (kg)	インバートコン (m ³)	基礎コン (m ³)	基礎材 (m ²)	型 枠 (m ²)
	A	c	W	W1	H	T	E					
300型	300	298	420	420	435	87	60	315	0.150	0.285	6.70	1.0

注：基礎材厚は、10cmです。

PL鋼製柵（参考図）

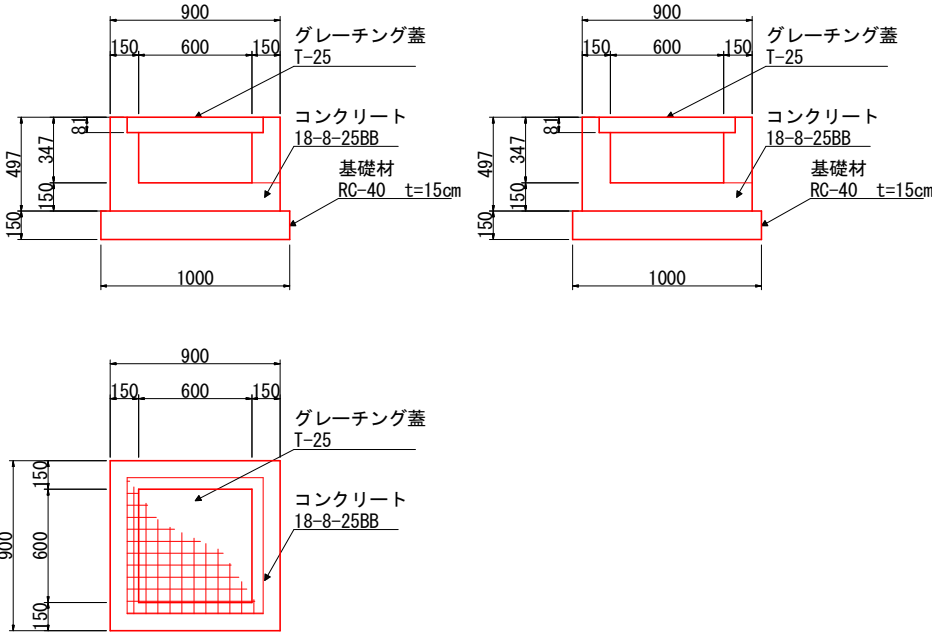
S=1:10



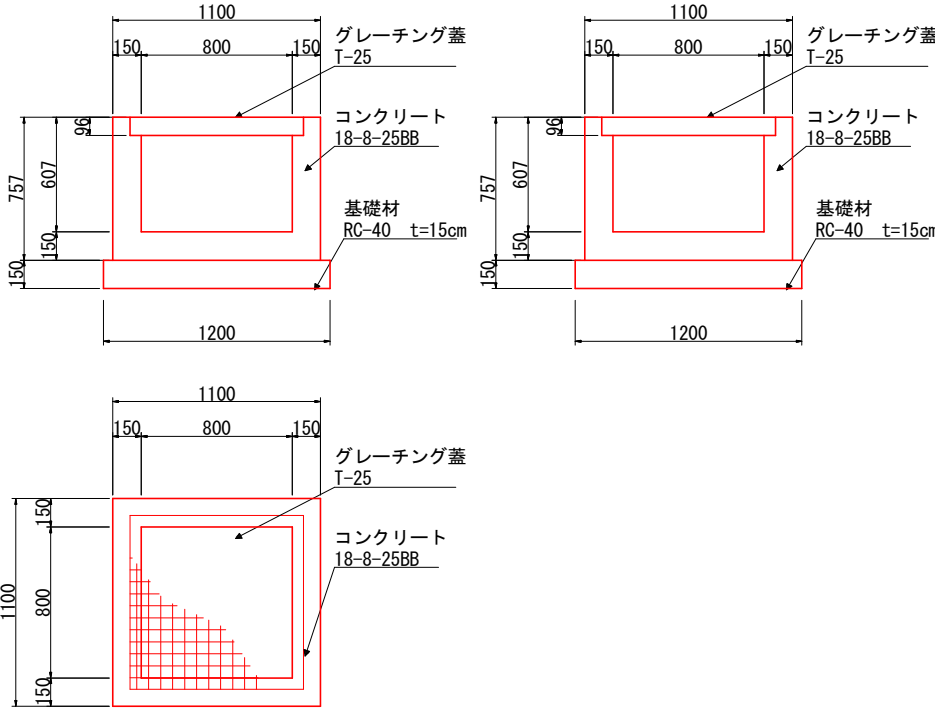
穴加工：内径145 外径155
塩ビ管 φ100・φ125等に対応

集水枡工構造図 S=1:20

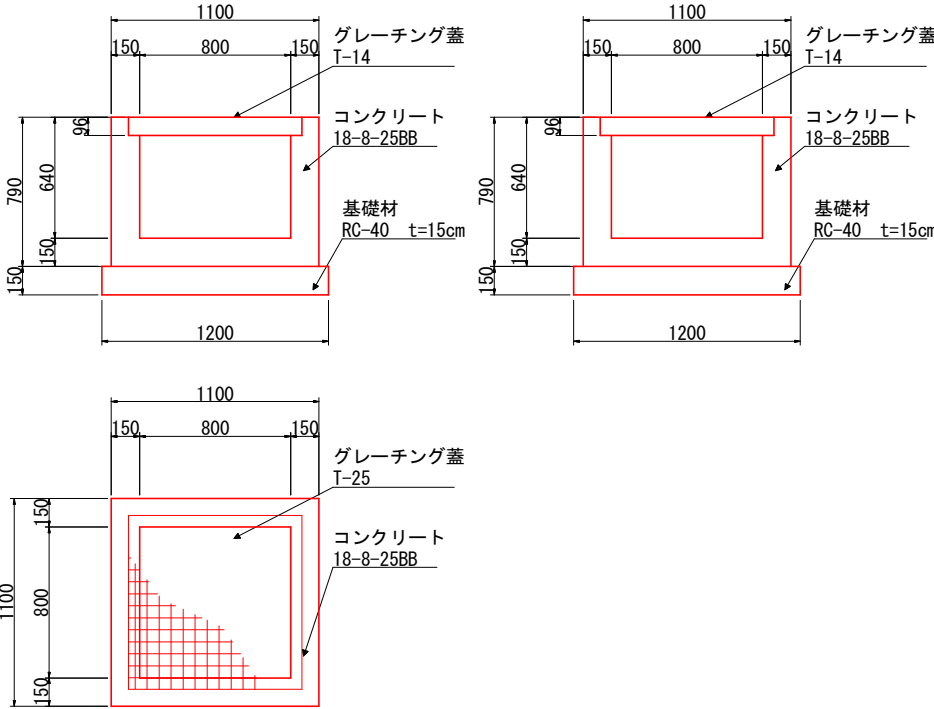
集水枡(1)
B600-L600-H347



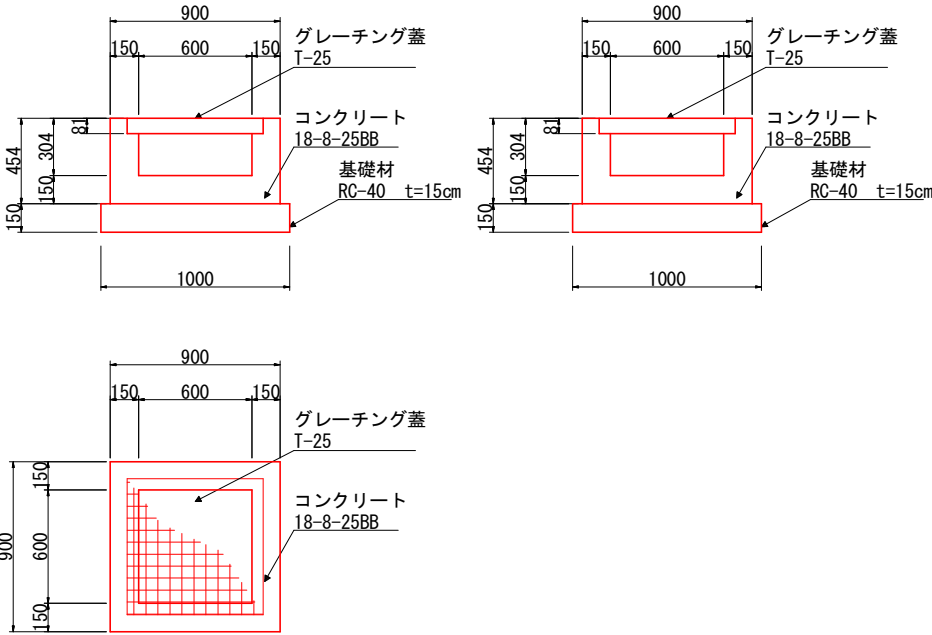
集水枡(2)
B800-L800-H607



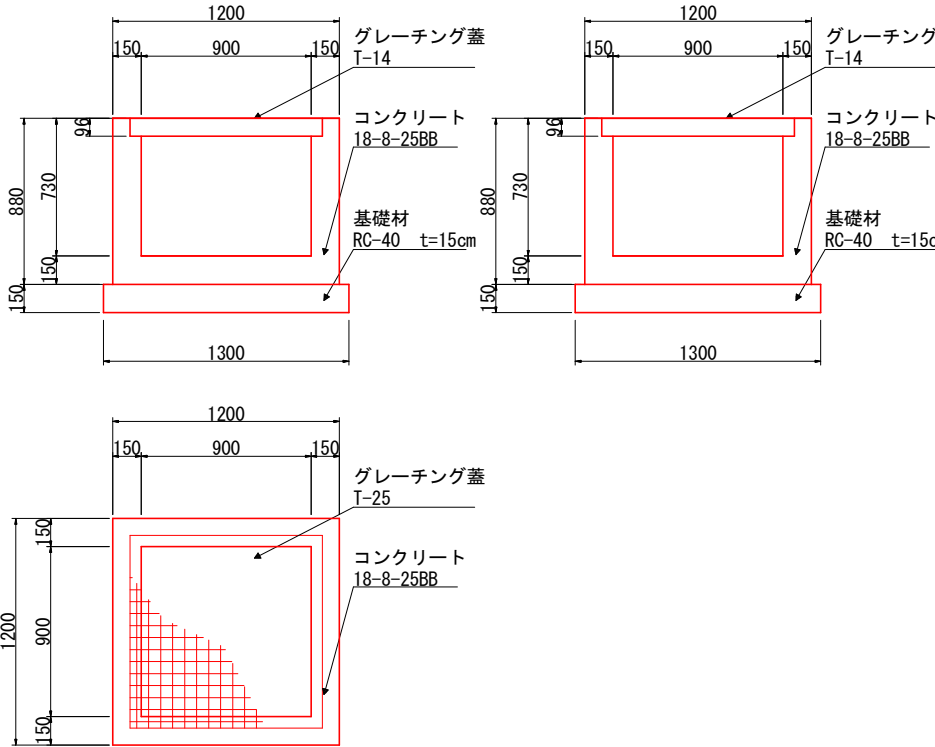
集水枡(3)
B800-L800-H640



集水枡(4)
B600-L600-H304



集水枡(5)
B900-L900-H730

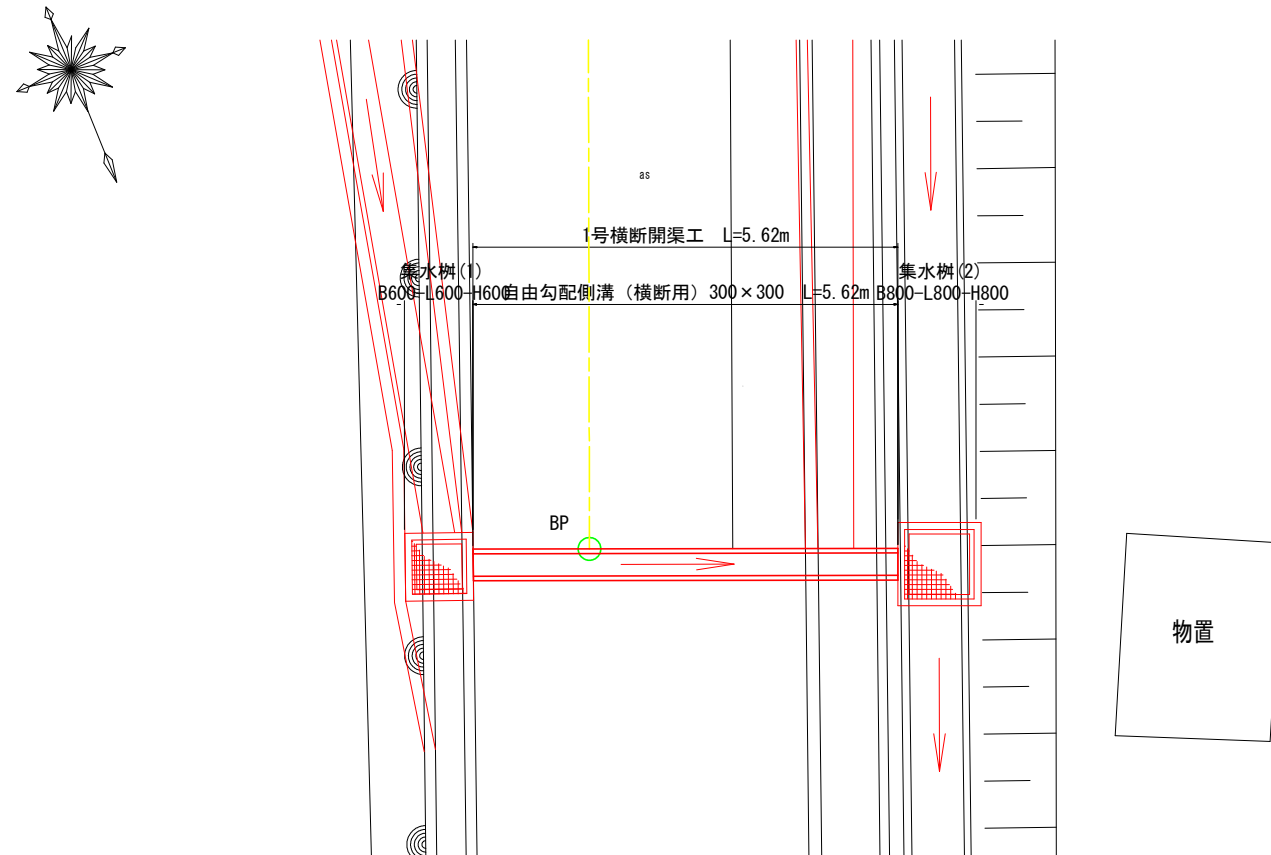


※集水枡は泥溜めを設けず底場と吐き口の高さを揃えること。

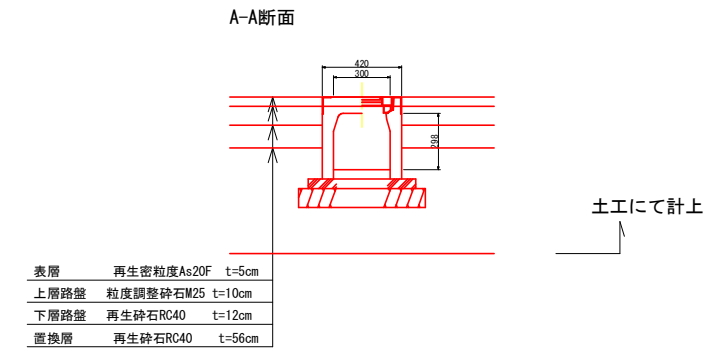
令和5年度 交通安全対策補助事業			
市道三郷1661号線 道路改良工事			
番号	13/20	集水枡工構造図	縮尺 図示
市道三郷1661号線			
安曇野市 三郷明盛			
設計会社 株式会社アンドー			
測量会社			
調査会社			
安曇野市役所			

1号横断開渠工詳細図

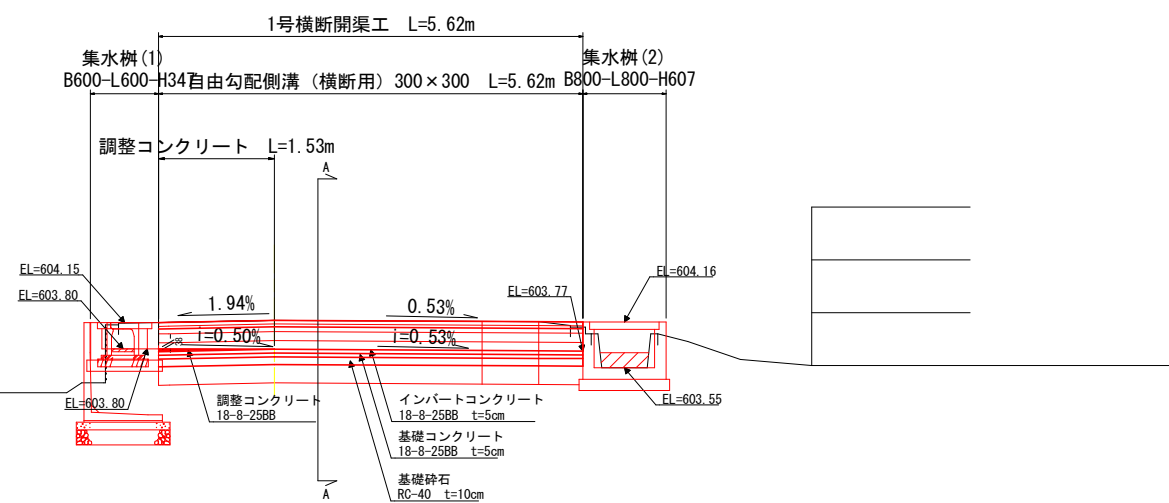
平面图 S=1:50



断面図 S=1:20



側 面 図 S=1:50

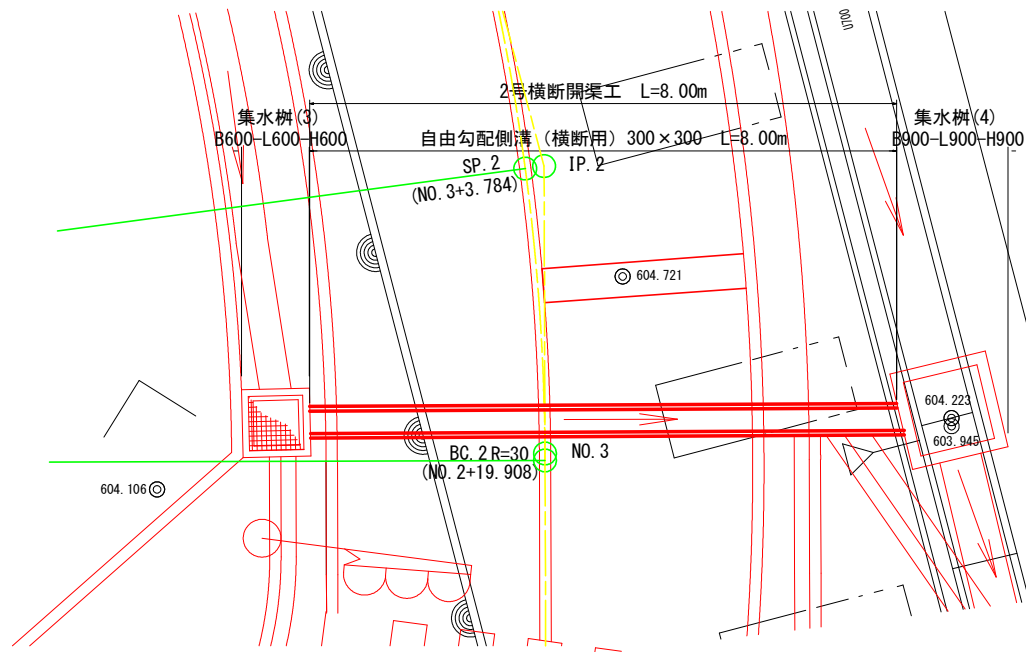


DL=600.00

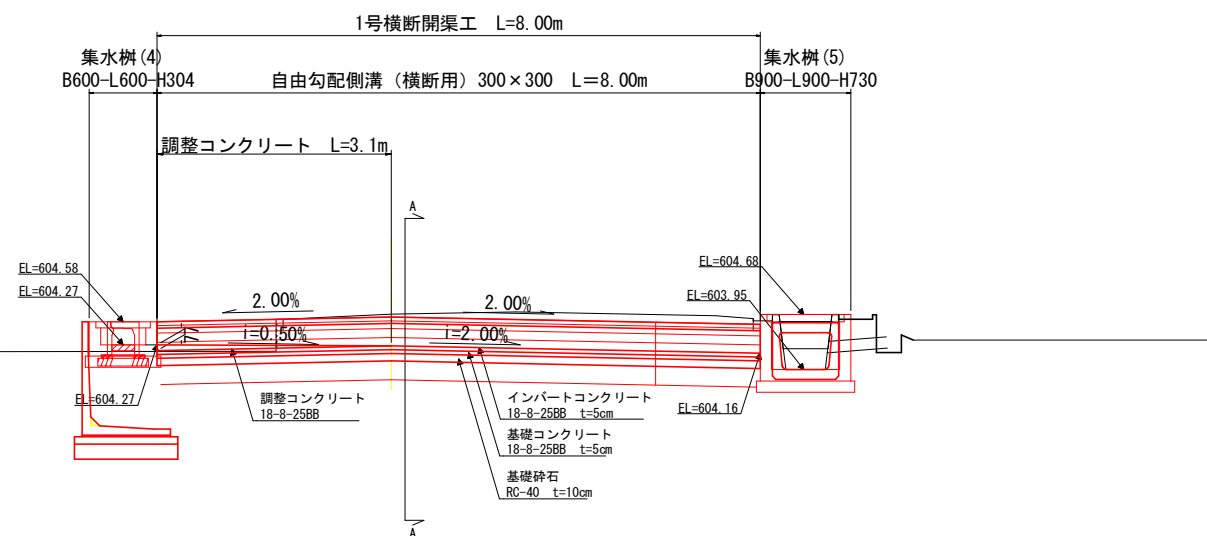
令和5年度 交通安全対策補助事業			
市道三郷1661号線 道路改良工事			
番号	14/20	1号橋新築区画二群線	縮尺 図示
市道三郷1661号線			
安曇野市 三郷明盛			
設計会社 株式会社アンドー			
測量会社			
調査会社			
安曇野市役所			

2号横断開渠工詳細図

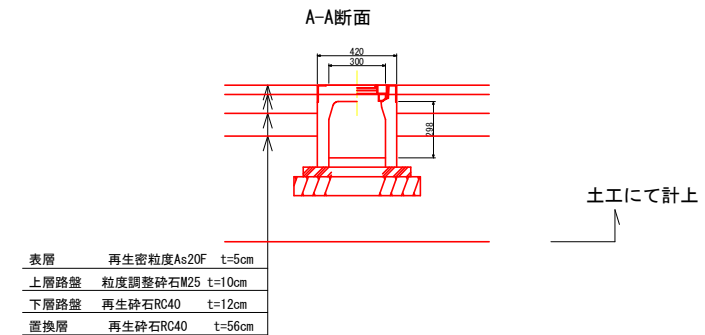
平面図 S=1:50



側面図 S=1:50



断面図 S=1:20

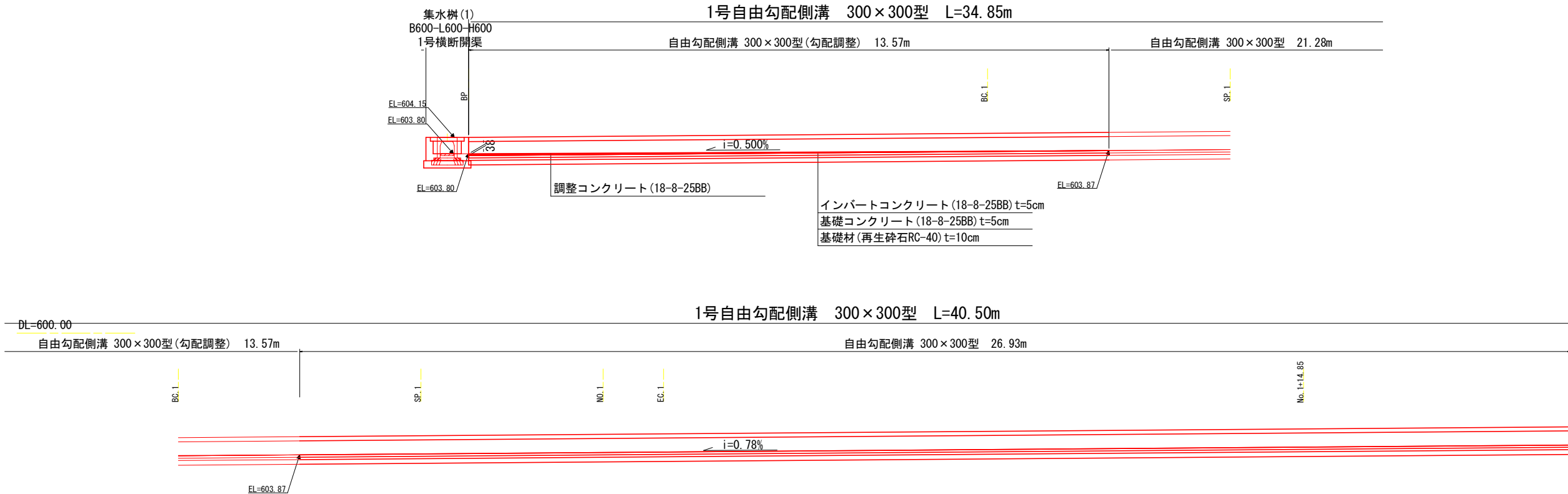


DL=600.00

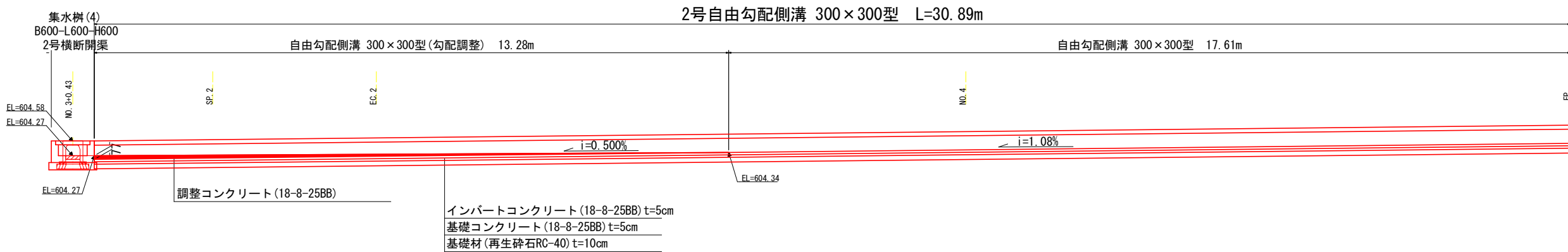
令和5年度 交通安全対策補助事業			
市道三郷1661号線 道路改良工事			
番号	15/20	2号横断開渠工詳細図	縮尺 図示
市道三郷1661号線			
安曇野市 三郷明盛			
設計会社	株式会社アンドー		
測量会社	株式会社アンドー		
調査会社			
安曇野市役所			

側溝工詳細図

1号自由勾配側溝 (L側) S=1:50



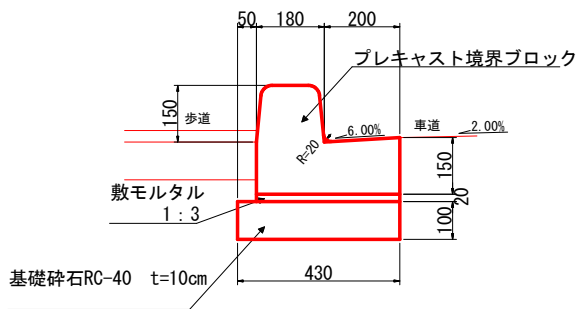
2号自由勾配側溝 (L側) S=1:50



令和5年度 交通安全対策補助事業		
市道三郷1661号線 道路改良工事		
番号	16/20	側溝工詳細図縮尺 S=1:50
市道三郷1661号線		
安曇野市 三郷明盛		
設計会社	株式会社アンドー	
測量会社		
調査会社		
安曇野市役所		

付属施設工構造図 S=1:10

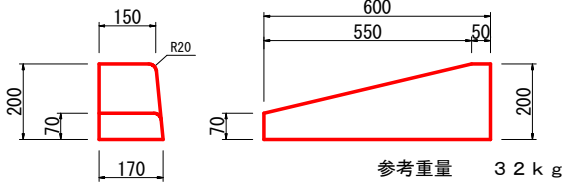
歩車道境界ブロック
基礎一体型(Aタイプ)



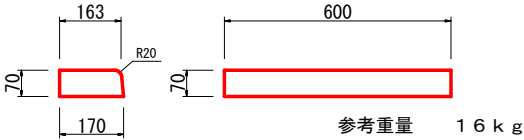
材 料 表				
名 称	規 格	単 位	数 量	10m当り 参考重量
歩車道境界ブロック	基礎一体型(Aタイプ)	個	5.0	
敷モルタル	1:3	m ³	0.08	
基礎材	RC-40, t=10cm	m ²	4.3	

参考重量:359kg(L=2.0m)

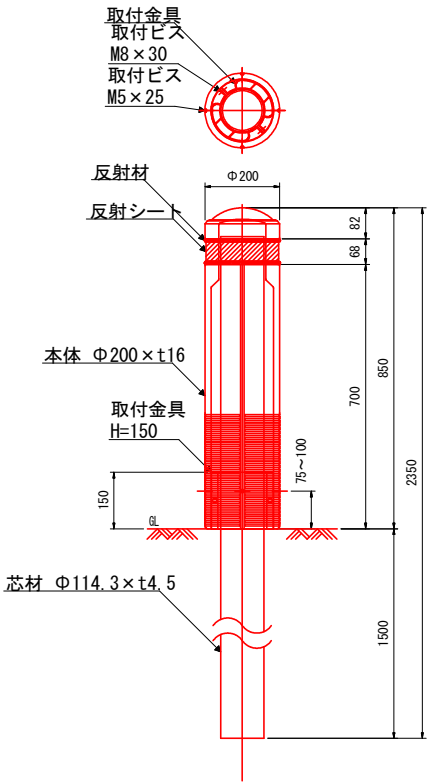
斜切部



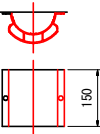
乗入部



車止め

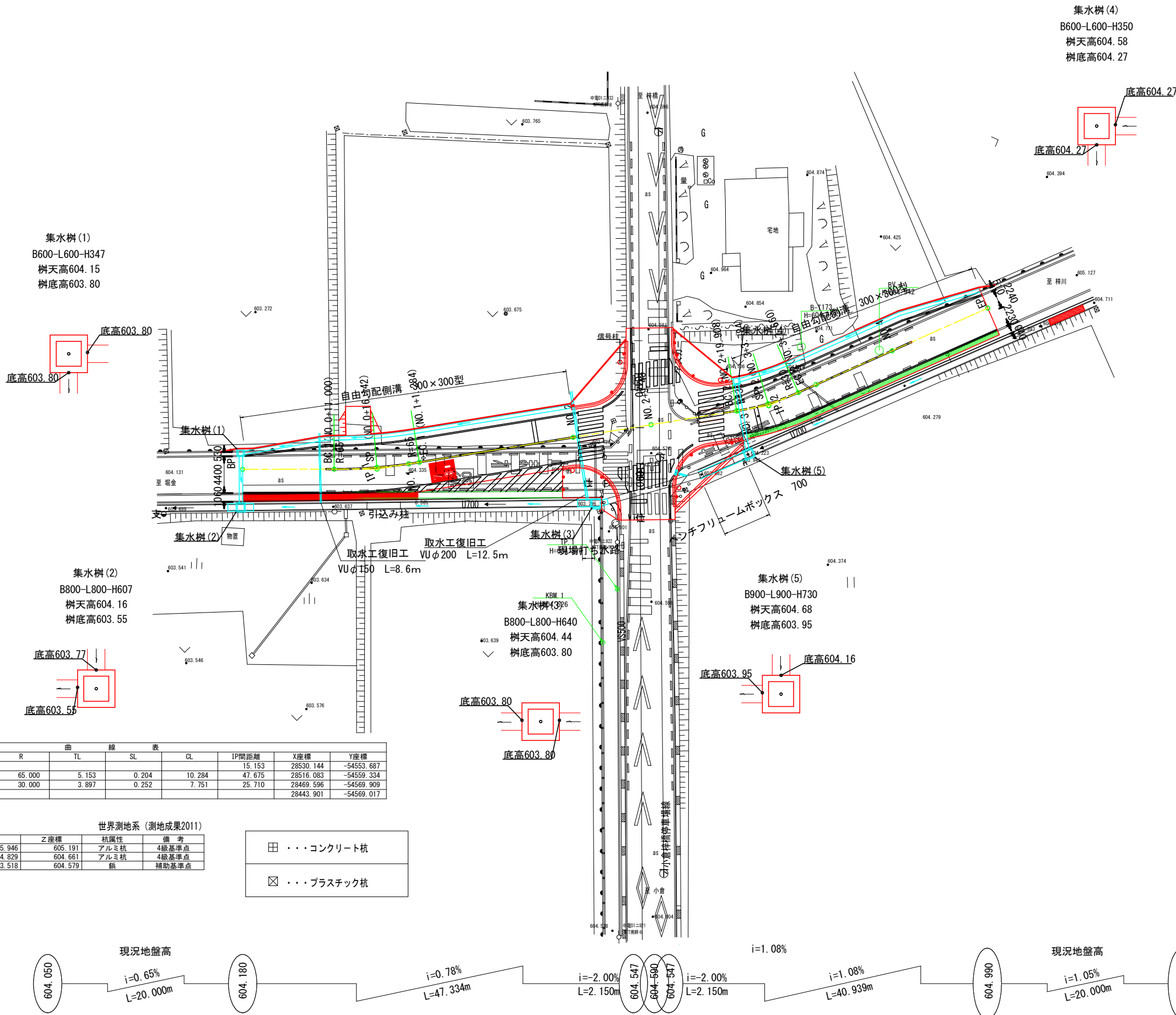
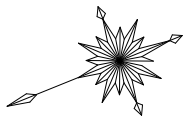


取付金具

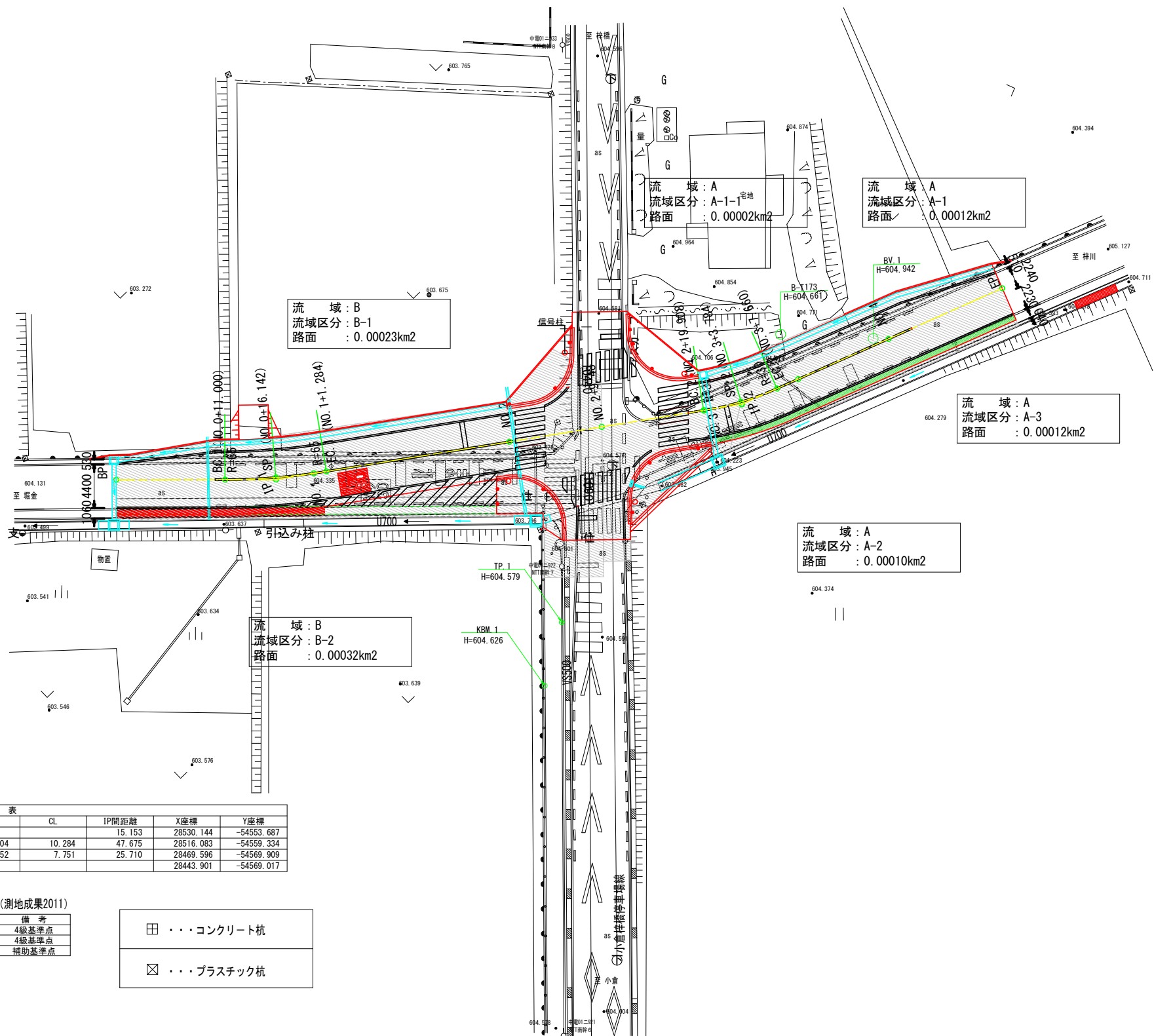
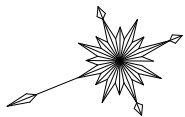


品 名	材 質	備 考
本 体	炭素鋼	チャイロ55
反 射 材	PE・ガラスビーズ	ベース 黒・反射体 白
反射シート		高輝度 白色
取付金具	アルミニウム合金	本体固定用
取付ビス	4.6相当	六角ボルト・ナット 80×30
取付ビス	SUS	十字穴付タッピングビス M5×25
芯 材	STK400相当	高耐食溶融めっき・静電粉体塗装

用排水系統図 S=1:250 安曇野市 三郷明盛



集水区域図 S=1:250 安曇野市 三郷明盛



線形要素表

曲線表									
IP	IP間方向角	IA	R	TL	SL	CL	IP間距離	X座標	Y座標
BP	201-52-51						15.153	28530.144	-54553.687
IP.1	192-48-57	9-03-54	65.000	5.153	0.204	10.284	47.675	28516.083	-54559.334
IP.2	178-00-42	14-48-14	30.000	3.897	0.252	7.751	25.710	28469.596	-54569.909
EP								28443.901	-54569.017

基準点座標一覧表

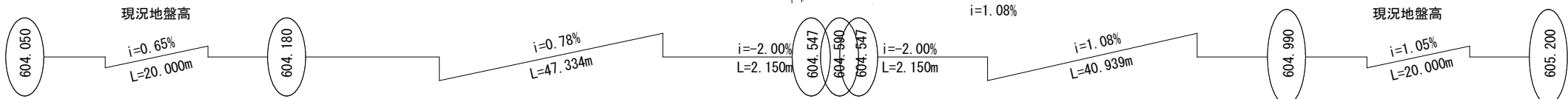
点名	X座標	Y座標	Z座標	杭属性	備考
B-T172	28358.384	-54495.946	605.191	アルミ杭	4級基準点
B-T173	28463.307	-54564.829	604.661	アルミ杭	4級基準点
TP.1	28494.709	-54583.518	604.579	紙	補助基準点

世界測地系 (測地成果2011)

田・・・コンクリート杭

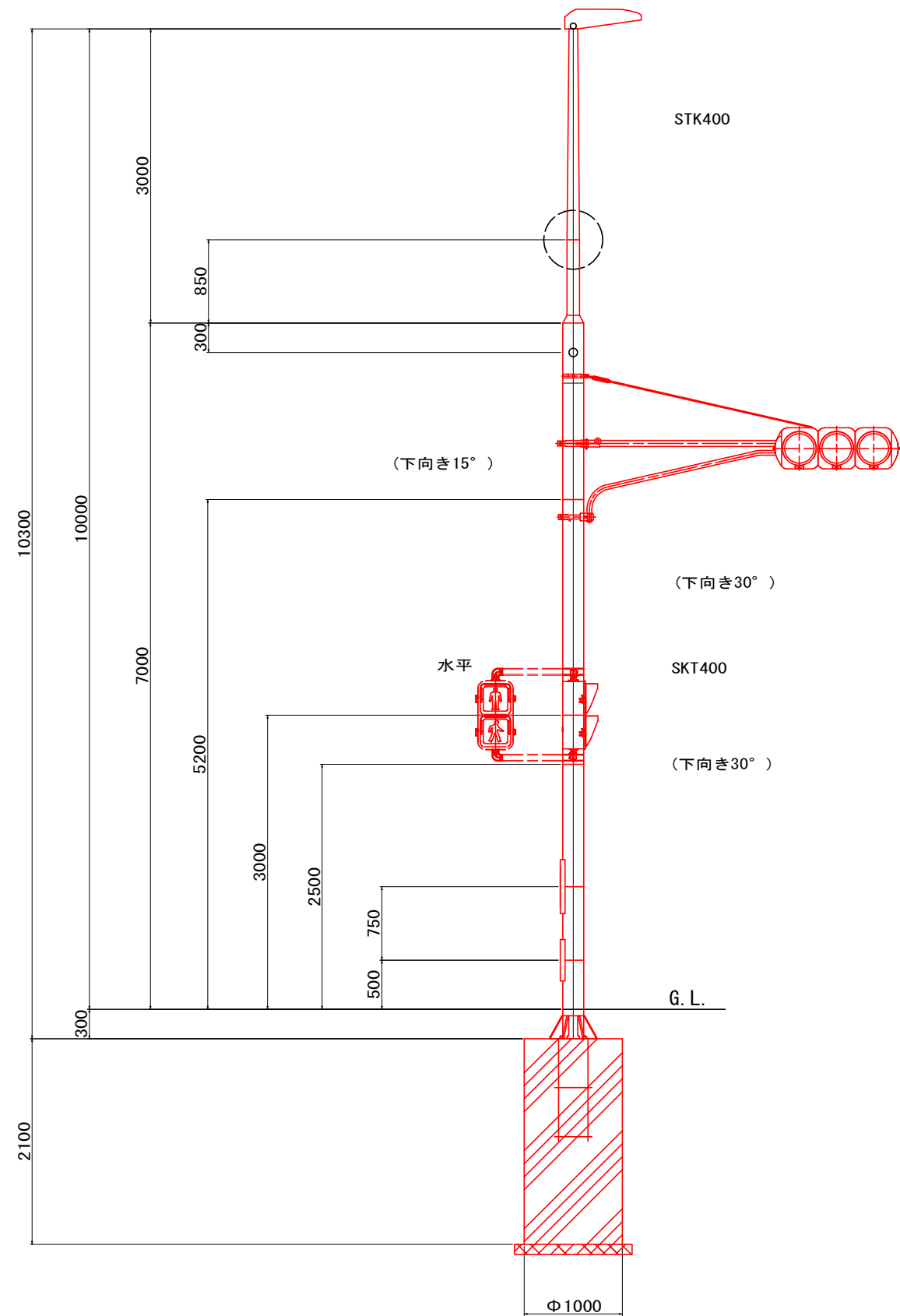
☒・・・プラスチック杭

計画縦断線

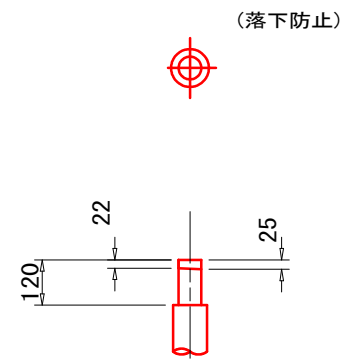


令和5年度 交通安全対策補助事業	
市道三郷1661号線 道路改良工事	
番号	20/20 集水区域図 縮尺 S=1:250
市道三郷1661号線	
安曇野市 三郷明盛	
設計会社	株式会社アンドー
測量会社	株式会社日研コンサル
調査会社	
安曇野市役所	

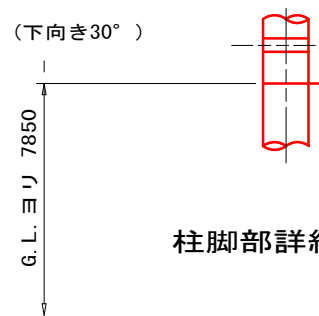
多目的信号柱参考図



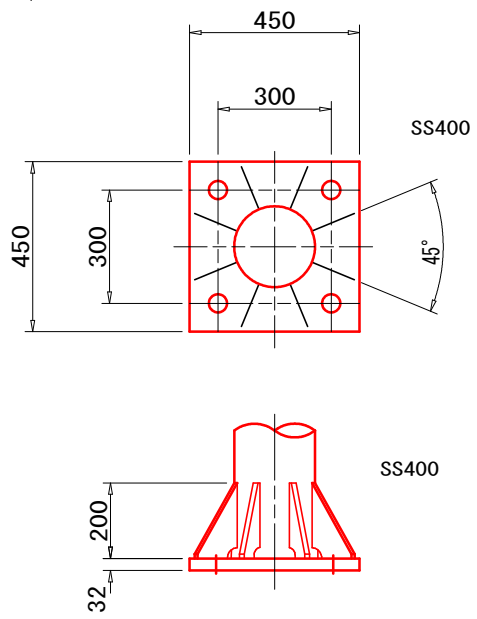
アダプター部詳細図 S=1/20



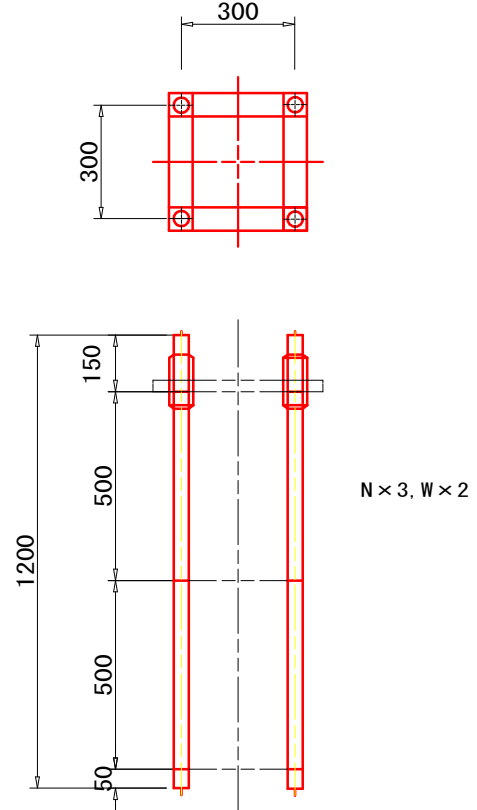
通線引込口詳細図 S=1/20



柱脚部詳細図 S=1/20



アンカーボルト詳細図 S=1/20



令和5年度 交通安全対策補助事業			
市道三郷1661号線道路改良工事			
番号	1/1	多目的信号柱参考図	縮尺 図示
市道三郷 1661号線			
安曇野市 三郷明盛			
設計会社	株式会社アンドー		
測量会社	株式会社アンドー		
安曇野市役所			